

Contents

舞踊芸術監督 吉田 都	2
<hr/>	
2022/2023シーズン バレエ ラインアップ	5
新国立劇場 開場25周年記念公演	
ジゼル	6
くるみ割り人形	9
ニューイヤー・バレエ	
A Million Kisses to my Skin／シンフォニー・イン・C／未定	13
コッペリア	16
シェイクスピア・ダブルビル	
マクベス／夏の夜の夢	20
白鳥の湖	24
<hr/>	
新国立劇場こどものためのバレエ劇場 2022	
ペンギン・カフェ	28
<hr/>	
2022/2023シーズン ダンス ラインアップ	31
新国立劇場バレエ団	
春の祭典	32
新国立劇場バレエ団	
DANCE to the Future 2023	34
日本の洋舞100年・第4弾	
ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2023	35
<hr/>	
公演一覧(1997.10～2022.6)	38

※本資料中のスタッフ・キャストは全て予定であり、変更される可能性があります。
何卒ご承知おきください。

2022/2023 シーズン バレエ・ダンス

舞踊芸術監督 吉田 都



2022/2023 シーズンは私の芸術監督3シーズン目となります。就任直後からコロナ禍とともに歩んでまいりましたが、そんな中でも目指しているところは変わらずひとつです。カンパニーをより良くしていくため、そしてより多くの方にバレエ・ダンスの魅力に触れていただくために物理的な環境整備から公演回数、医療サポート、そして舞台メイクに至るまで様々な方面で改革を行ってきていますが、どれも巡り巡ってお互いに作用すると日々実感しております。植物がどの栄養が不足しても成長できないように、バレエカンパニーも様々な角度からのアプローチがあって大きく花開くものと思います。

このシーズンでは、4作品の新制作を皆さまにご紹介できることを大変嬉しく思います。ひとつめはシーズンオープニングの全幕『ジゼル』です。英国ロイヤルバレエに長らく在籍し、振付家としても活躍しているアラスター・マリオットを改訂振付に迎え、私自身も制作に関わることにいたしました。世界中のバレエ団で継承されてきたロマンティック・バレエの傑作ですので、伝統をリスペクトしながら新国立劇場バレエ団オリジナルのものを創り上げてまいります。

ふたつめは2021年に上演予定でありました『A Million Kisses to my Skin』。振付はクラシックのステップを基本としていますが、ダンサーたちには殻を破れるようなチャレンジになる作品と思います。振付家から直接、作品のエッセンスを受け取れる機会に、ぜひ多くのことを吸収してもらいたいです。華やかなバランシンの『シンフォニー・イン・C』などとともに、新春を彩るような公演にいたします。

残りの2作品は、5月に「シェイクスピア・ダブルビル」と題してお届けする、『夏の夜の夢』と『マクベス』です。『夏の夜の夢』もまた2022年1月に上演予定でしたが、同じくシェイクスピアを題材とした『マクベス』との二本立てで、非常にベストなタイミングで上演できる運びとなりました。『マクベス』はこれも世界的に活躍されているウィル・タケットに新国立劇場バレエ団のために制作していただき、オリジナルバレエです。まだ一度もバレエとして上演されていない、ジェラルディン・ミュシャが作曲したバレエ音楽「マクベス組曲」に振り付けていただきます。第一線で活躍されている振付家が新作を生み出す機会を、ダンサーが経験できるというのは大きな意味を持ちますから、私もとてもワクワクしております。

レパートリーも楽しみな演目が待っています。

ホリデーシーズンには新国立劇場の冬の定番『くるみ割り人形』。2021~2022年の年末年始にロングランで上演するというチャレンジをいたしました。非常に多くのお客様にご来場いただき大盛況に終わりました。ぜひ今後とも、こういった形での観劇スタイルが日本に根付くことを期待しています。

2月の『コッペリア』は何としても近いうちに再演したいと熱望していたプロダクションです。2020年に上演を予定していた際には残念ながら無観客公演という形になりましたが、ライブ配信で沢山の方にご覧いただきました。ぜひフランス的な魅力に溢れたプティの傑作を、改めて皆様にお届けしたいと思います。

シーズンの締めくくりには、2021年に新制作し大好評いただいた『白鳥の湖』を再演します。前回の上演に際し、ダンサーたちの大きな成長、またお客様の静かな、けれども熱い興奮を私自身目の当たりにし、この作品の力を感じました。今回は、エデュケーショナル・プログラムとしての上演と

もに、バレエを愛する皆様にはもちろん、まだバレエに出会ったことのない方にもこの『白鳥の湖』の魅力をお伝えできればと願っています。

ダンス公演では、新国立劇場バレエ団の違った魅力をお楽しみいただける公演と日本の洋舞の原点を振り返る企画の3本が並びました。11月には、平山素子さんの『春の祭典』と新作『半獣神の午後』を上演します。新国立劇場で生まれ、再演を重ねてきた傑作に加え、男性ダンサーたちが多く活躍する新作に新国立劇場バレエ団ダンサーたちがどのように挑戦するか、どうぞご期待ください。

3月は新国立劇場バレエ団ならではの企画「DANCE to the Future」。新国立劇場バレエ団の中から振付家を育てるプロジェクト「NBJ Choreographic Group」で生まれた作品を上演します。劇場は作品を上演するだけでなく、つくる場所でもありますから、大切に積み重ねていきたいプロジェクトです。

「ダンス・アーカイヴ in JAPAN」は、日本独自の創作舞踊のパイオニアたちの作品を復元上演するシリーズの第4弾です。こちらは5年ぶりの上演となりますが、日本のダンス界においてモダンダンスのスタイルを創りあげて行った振付家たちの作品を現在活躍するダンサーによって再現することは、未来を見据えるという意味でも大切な企画です。

最後に、どなたにとっても困難な状況が続く中、新国立劇場、そしてバレエ団を応援して下さる皆様に深く感謝申し上げます。厳しい状況下にあっても舞台芸術の灯を消さずに歩み続けられてきたのは、皆様のサポートあってのことです。コロナ禍の終息はまだ見通せませんが、新たなシーズンも今できるベストを毎公演積み重ねていきますので、どうぞ劇場へいらしていただけましたら幸甚です。

〈プロフィール〉

9歳でバレエを習い始め、1983年ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞。同年、英国ロイヤルバレエ学校に留学。84年、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエ（現バーミンガム・ロイヤルバレエ）へ芸術監督ピーター・ライトに認められて入団。88年にプリンシパル昇格。95年に英国ロイヤルバレエへプリンシパルとして移籍、2010年に退団するまで英国で計22年にわたり最高位プリンシパルを務める。

日本国内では97年の開場記念公演『眠れる森の美女』をはじめ、新国立劇場バレエ公演での99年『ドン・キホーテ』『シンデレラ』、00年『ラ・シルフィード』、04年『ライモンダ』ほか、数多くの公演に主演している。

ローザンヌ国際バレエコンクール審査員を務めるほか、後進の育成にも力を注いでいる。バレリーナとしての功績と共にチャリティ活動を通じた社会貢献が認められ、04年「ユネスコ平和芸術家」に任命される。12年には国連UNHCR協会国連難民親善アーティストに任命。

01年芸術選奨文部科学大臣賞、06年英国最優秀女性ダンサー賞、11年第52回毎日芸術賞など受賞多数。07年に紫綬褒章並びに大英帝国勲章（OBE）受賞、17年文化功労者、19年菊池寛賞。

Ballet

2022/2023 シーズン バレエ ラインアップ

〈計 6 演目 46 公演〉

2022 年 10 月
新国立劇場 開場 25 周年記念公演

ジゼル **新制作**

9 回公演

2022 年 12 月～2023 年 1 月

くるみ割り人形

12 回公演

2023 年 1 月

ニューイヤール・バレエ

A Million Kisses to my Skin **新制作** / **シンフォニー・イン・C** / **未定**

4 回公演

2023 年 2 月

コッペリア

5 回公演

2023 年 4 月～5 月

シェイクスピア・ダブルビル

夏の夜の夢 **新制作** / **マクベス** **新制作・世界初演**

7 回公演

2023 年 6 月

白鳥の湖

9 回公演

エデュケーショナル・プログラム

2023 年 6 月

エデュケーショナル・プログラム vol.2 **白鳥の湖**

3 回公演

こどものためのバレエ劇場

2022 年 7 月
新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2022

ペンギン・カフェ

8 回公演

ジゼル

Giselle

オペラパレス | 9回公演

●会員先行販売期間: 2022年 8/13(土)~8/16(火)

●一般発売日: 2022年 8/20(土)

2022年 10/21(金)19:00、22(土)13:00/18:00、23(日)14:00、25(火)~28(金)のうち2日程、29(土)13:00/18:00、

30(日)14:00

料金 S:14,300円 A:12,100円 B:8,800円 C:6,600円 D:4,400円

吉田都芸術監督就任第2作目となる新制作は、自らが手掛ける『ジゼル』です。英国ロイヤルバレエで長らく活躍したイギリス人振付家のアラスター・マリオットとともに、19世紀ロマンティック・バレエ不朽の名作を新しく生まれ変わらせます。リトアニアの「十字架の丘」に着想を得て、キリスト教と土着の文化の狭間にある世界観を表現したディック・バードの美術も大きな見どころです。2020年『竜宮 りゅうぐう』に引き続き、新国立劇場バレエ団が世界へ発信する全幕バレエにぜひご注目ください。

振付: ジャン・コラリ、ジュール・ペロー、
マリウス・プティパ

Choreography by Jean CORALLI, Jules PERROT
and Marius PETIPA

演出: 吉田 都

Production by YOSHIDA Miyako

改訂振付: アラスター・マリオット

Additional choreography by Alastair MARRIOTT

音楽: アドルフ・アダン

Music by Adolphe ADAM

美術・衣裳: ディック・バード

Set and Costume Designer: Dick BIRD

照明: リック・フィッシャー

Lighting Designer: Rick FISHER

指揮: アレクセイ・バ克蘭 / 冨田実里

Conductors: Alexei BAKLAN / TOMITA Misato

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

スタッフ プロフィール

演出: 吉田 都

Production by YOSHIDA Miyako

※3ページを参照



改訂振付: アラスター・マリOTT

Additional choreography by Alastair MARRIOTT

1988年に英国ロイヤルバレエに入団、92年ソリスト昇格。2003年よりプリンシパル・キャラクター・アーティストとなり、振付家としての活動を始める。ロイヤルバレエではフレデリック・アシュトン、ケネス・マクミランの振付作品や古典などに幅広く出演し、19年に振付に専念するため退団。ロイヤルバレエのために7つの一幕作品を振り付け、最新作である19年『アンノウン・ソルジャー』は、オリヴィエ賞候補となった。ロンドンの舞踊批評家協会最優秀クラシック振付家賞に3度ノミネートされ、15年『ツァイトガイスト』でロシアのゴールデン・マスク賞候補となる。英国ロイヤルバレエ学校でも3作品を振り付け、英国ロイヤルオペラ『ロシア皇后のスリッパ』でも振付を手掛けた。他に10年のロイヤル・バラエティー・パフォーマンスのためのパ・ド・ドゥの振付や、ダーシー・バッセルへの『キス』『赤い靴』の振付も手掛け、12年のロンドン・オリンピックの閉会式ではクリストファー・ウィールドンとも協働した。近年は、アンソニー・バンクス演出『アフター・ミス・ジュリー』でヘレン・ジョージへの振付を手掛ける。



美術・衣装: デイック・バード

Set and Costume Designer : Dick BIRD

デイック・バードがこれまでに手がけたオペラのデザインは『中国のニクソン』『ガラントゥリーズ』『ミカド』（スコティッシュ・オペラ）、『オテロ』（ウィーン国立歌劇場）、『ストリート・シーン』（テアトロ・レアル）、『アンナ・ボレーナ』『真珠採り』（メトロポリタン歌劇場、イングリッシュ・ナショナル・オペラ）、『湖上の美人』『花火師の娘』（英国ロイヤルオペラ）、『ベアトリスとベネディクト』（オペラ・コミック座）などがある。バレエでは『くるみ割り人形』『アラジン』（バーミンガム・ロイヤルバレエ）、『ドラゴン・クエスト』『くるみ割り人形』（スターダンサーズ・バレエ団）、『夏潮』（サラソタバレエ）、『ラ・パヤデール』（Kバレエカンパニー）、『カンタヴィルの亡霊』（イングリッシュ・ナショナル・バレエ）などを手掛けている。その他演劇では、『ハムレット』『ラ・グランド・マージ』（コメディ・フランセーズ）、『十二夜』『テンペスト』『あわれ彼女は娼婦』（ポーランド劇場）や、UKシアターアワードでベストデザイン賞を受賞した『未来は今』（ナフィールド・サウサンプトン劇場/リバプール・エブリマン劇場）をデザインしている。新国立劇場バレエ団では、『火の鳥』と『アラジン』の装置デザインを手掛けている。

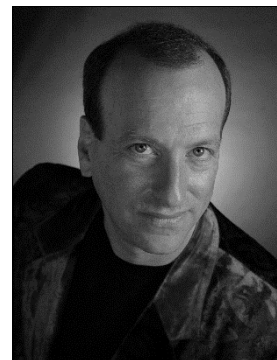


スタッフ プロフィール

照明:リック・フィッシャー

Lighting Designer: Rick FISHER

フィラデルフィア生まれ。2度のオリヴィエ賞受賞。ブロードウェイで上演された『インスペクター・コールズ』『ビリー・エリオット』でトニー賞受賞。ロンドンでの『赤ずきん』『ラ・マンチャの男』『ムード・ミュージック』『レント』『サニー・アフタヌーン』『炎のランナー』『ユダの接吻』『ウェイスト』『ピーター・パン』などの他、『ドン・カルロ』『蝶々夫人』（ロサンゼルス）、『椿姫』（オマーン王立歌劇場）、『紫禁城』『ヴェニス商人』『オテロ』（シンガポール）、『王様と私』（パリ、シカゴ）、『スウィーニー・トッド』（パリ、ヒューストン、サンフランシスコ）、『ザ・オーディエンス』（ブロードウェイ）、ディズニー『ノートルダムの鐘』（ベルリン）、サンタフェ・オペラでの25作品以上を手掛けている。日本では『ビリー・エリオット』（ホリプロ）、『マタ・ハリ』（梅田芸術劇場）、『ファルスタッフ』『サロメ』（サイトウ・キネン）、『赤鬼』『THE BEE』（野田地図）、マシュー・ボーン『白鳥の湖』『インスペクター・コールズ』（アートスフィア）、『リア王』『ハムレット』（東京グローブ座）などに携わる。英国照明デザイナー協会会員。2017年カイロニ特別功労賞ナイト・オブ・イルミネーション賞。



指揮:アレクセイ・バクラン

Conductor: Alexei BAKLAN

ウクライナ国立歌劇場指揮者。1987年、キエフ国立音楽院を卒業後、ウクライナ国立歌劇場にて指揮者を務める。95年、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場首席指揮者に就任。ウクライナ芸術功労活動家の称号を授与される。ウクライナ国立歌劇場では『マーメイド』『コッペリア』『ウィンナー・ワルツ』『海賊』、また、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場では『リゴレット』『ロメオとジュリエット』『ラ・バヤデール』『ジゼル』『白鳥の湖』『不死身のカシェイ』（リムスキー=コルサコフ）、『森の詩』（スコルリスキー）などのオペラ、バレエに指揮者・音楽監督として参加。ベートーヴェン『交響曲第9番』、ロッシニ『スターバト・マーテル』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』などを手がける。2003年、06年にはメキシコで、世界のバレエ界のスターたちを集めて行なわれたガラ・コンサート《バレエティッシモ》で指揮を務めた。06年にザグレブ国立歌劇場に招かれたほか、メキシコシティ国立バレエ団に度々招かれ、『ロメオとジュリエット』などの指揮を務める。また、ウクライナ国立歌劇場のドイツ、フランス、スペイン、スロベニア、ポルトガル、韓国、南アフリカ、メキシコ公演、およびキエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場イギリス公演（05、06、07年）に参加。新国立劇場バレエ団では08年以降、『ラ・バヤデール』『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント』『大フーガ』『テーマとヴァリエーション』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『ジゼル』などで指揮を務めている。



指揮:富田実里

Conductor: TOMITA Misato

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『パキータ』『ペンギン・カフェ』『白鳥の湖』を指揮した。



2022年 12/23~2023年 1/3
＜レパートリー＞
Repertoire

くるみ割り人形

The Nutcracker and the Mouse King

オペラパレス | 12回公演

●会員先行販売期間：2022年10/9(日)~10/12(水)

●一般発売日：2022年10/16(日)

2022年12/23(金)19:00、24(土)13:00/18:00、25(日)13:00/18:00、28(水)19:00、29(木)13:00/18:00、31(土)16:00、

2023年1/1(日・祝)14:00、2(月・休)13:00、3(火)14:00

料金 S:13,200円 A:11,000円 B:7,700円 C:4,400円 D:3,300円

2017年に初演された本作は、ウェイン・イーグリングによる華麗でスピーディーな振付、上品で華やかな美術や衣裳によって、古典名作の新境地を開いたと高く評価された人気演目です。「少女クララの夢」をテーマに、恋心を抱いた青年との冒険を通して大人への入り口を踏み入れていくクララの成長を描いています。高度なパートナーリングやテクニックが求められる主役のみならず、雪の場面や花のワルツの群舞、2幕のディヴェルティスマンなど見どころが多く、充実したダンサー陣容を誇る新国立劇場バレエ団ならではの『くるみ割り人形』です。再演を重ねることでさらに磨き上げられた舞台を、クリスマス、年越し、お正月の特別なイベントとして、ぜひご家族でもお楽しみください。

振付：ウェイン・イーグリング

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

美術：川口直次

衣裳：前田文子

照明：沢田祐二

Choreography by Wayne EAGLING

Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY

Set Designer: KAWAGUCHI Naoji

Costume Designer: MAEDA Ayako

Lighting Designer: SAWADA Yuji

指揮：アレクセイ・バ克蘭／富田実里

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

合唱：東京少年少女合唱隊

Conductors: Alexei BAKLAN / TOMITA Misato

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

Chorus: The Little Singers of Tokyo

ものがたり

クリスマス・イブ。クララの家ではパーティーの準備で忙しく、外では凍った運河の上で人々がスケートを楽しんでいる。謎めいたドロッセルマイヤーと、士官学校を卒業したばかりの彼の甥が到着する。ドロッセルマイヤーは招待客に手品を披露し、クララの姉のルイーゼとルイーゼを慕う3人の男性が踊りだす。ドロッセルマイヤーがクララに贈ったくるみ割り人形（以下、人形）を兄のフリッツが壊してしまうが、ドロッセルマイヤーは魔法のように人形を元通りに直す。パーティーが終わり、クララが眠りにつくと、夢の中で人形は邪悪なねずみの王様に攻撃される。ねずみの王様がねずみたちを引き連れて現れると人形も勇敢な兵士に変身し、ねずみたちとの戦いに挑む。ねずみの軍隊が勝利し、人形は傷を負ってしまう。ドロッセルマイヤーがその場を収め、クララは人形から姿を変えた甥と二人でロマンティックなパ・ド・ドゥを踊る。しかし雪が降り始めるなか、ねずみの王様は甥を人形の姿に戻してしまう。居間が魔法にかかり、光り輝く雪片が降る白銀世界に変わっていく。ねずみの王様たちの軍勢に追われるクララと人形は、ドロッセルマイヤーに救われて、魔法の地へと気球に乗って運ばれていく。一方でねずみの王様は一計を案じる。

魔法の地に到着した。甥はねずみの王様を打ち負かして、壮大な祝祭が始まる。中国、アラビア、ロシア、スペインなど世界中のダンサーたちが様々な踊りを見せる。ドロッセルマイヤーの魔法で美しい庭が現れ、その中でダンサーたちが花のワルツを踊る。最後にクララはこんぺい糖の精となり、王子になった甥とともに美しいパ・ド・ドゥを踊る。

クララは突然、寝室で目覚めた自分に驚く。フリッツとクララは外に出て、雪の中でドロッセルマイヤーとその甥に手を振って別れを告げる。子供たちは不思議な思いに包まれて二人を見送る。



2021年公演より（撮影：長谷川清徳）

スタッフ プロフィール

振付:ウエイン・イーグリング

Choreography by Wayne EAGLING

カナダのモントリオール生まれ。ロンドンの英国ロイヤルバレエ学校で学び、卒業後1969年に英国ロイヤルバレエに入団。75年にはプリンシパル・ダンサーに昇進。同バレエ団のレパートリーの主たる古典的な役の全てを踊り、マクミラン、アシュトン、バランシン、ロビンス、ハンス・ファン・マーネン、ノイマイヤー、ヌレエフ、ビントレーといった振付家の作品に出演。英国ロイヤルバレエ学校用に『R. B. Sque』(83年)、ロイヤルバレエ公演に『フランケンシュタイン、現代のプロメテウス』(85年)などを創作。91年にダンサーとしての現役を引退し、その後13年間オランダ国立バレエの芸術監督を務める。オランダ国立バレエのための振付作品は、『Ruins of Time』(93年)、『魔笛』(98年)、『春の祭典』(2000年)など。05年から12年までロンドンのイングリッシュ・ナショナル・バレエの芸術監督として『レゾリューション』(08年)、『Men Y Men』(09年)、『くるみ割り人形』(10年)、『遊戯』(12年)の振付を行っている。新国立劇場バレエ団では14年『眠れる森の美女』を改訂振付、16年『Men Y Men』日本初演、17年『くるみ割り人形』振付を手がけた。



美術:川口直次

Set Designer: KAWAGUCHI Naoji

1962年日本放送協会に入局。大河ドラマなどテレビドラマの美術で活躍するかたわら、オペラ・バレエ・演劇などの舞台美術を数多く手がける。77年伊藤熹燾賞受賞。83年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本放送協会を退職後、武蔵野美術大学で、舞台美術、映像美術の教育に携わる。新国立劇場のバレエ公演では、『パキータ』、こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』、2014年『眠れる森の美女』、15年『ホフマン物語』、17年『くるみ割り人形』、オペラ公演では『セビリアの理髪師』『トスカ』『こうもり』の美術を手がけた。バレエの代表作としては、『新白鳥の湖』『ロミオとジュリエット』(松山バレエ団)、『ドン・キホーテ』(牧阿佐美バレエ団)など。近年手がけたオペラ作品としては『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』(名古屋二期会)、新作オペラ『いのち』(長崎県オペラ協会公演)などがある。オペラ、バレエのほか演劇や映画の美術を多数手がけており、代表的な映画作品に伊丹十三監督作品『静かな生活』『スーパーの女』『マルタイの女』がある。武蔵野美術大学名誉教授。



衣裳:前田文子

Costume Designer: MAEDA Ayako

1988年より緒方規矩子に師事。95年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイギリスへ留学。新国立劇場では演劇公演『喪服の似合うエレクトラ』『夢の痂』『ヘンリー六世』『雨』『リチャード三世』『アジア温泉』『プレス・オブ・ライフ』『星ノ数ホド』『オレスティア』『骨と十字架』『リチャード二世』、オペラ公演『蝶々夫人』『鹿鳴館』、バレエ公演では石井潤『カルメン』、ダレル『ホフマン物語』、イーグリング『くるみ割り人形』、ダンス公演の伊藤キム『close the door, open your mouth』、前田清実『きらめく背骨』の衣裳も手がけている。95年度伊藤熹燾賞新人賞、第10回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、2003年度伊藤熹燾賞、06年第5回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。



スタッフ プロフィール

照明: 沢田祐二

Lighting Designer: SAWADA Yuji

東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を学ぶ。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『白鳥の湖』『ジゼル』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレスティア』などを手掛ける。第1、10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊国屋演劇賞。第1回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。

**指揮: アレクセイ・バクラン**

Conductor: Alexei BAKLAN

※8ページ『ジゼル』を参照

**指揮: 富田実里**

Conductor: TOMITA Misato

※8ページ『ジゼル』を参照



ニューイヤー・バレエ

A Million Kisses to my Skin<新制作>/シンフォニー・イン・C/未定

New Year Ballet

A Million Kisses to my Skin *Company Premiere* / *Symphony in C* / TBA

オペラパレス | 4回公演

●会員先行販売期間: 2022年11/12(土)~11/15(火)

●一般発売日: 2022年11/23(水・祝)

2023年1/13(金)19:00、14(土)13:00/18:00、15(日)14:00

料金 S:11,000円 A:8,800円 B:6,600円 C:4,400円 D:3,300円

2023年の新春は2021年から上演延期となった『A Million Kisses to my Skin』、バランシンの名作『シンフォニー・イン・C』など、華やかなプログラムでお届けします。新年を祝うのに相応しい、個性豊かな珠玉の作品が揃いました。どうぞ多彩なバレエの世界をご堪能ください。

A Million Kisses to my Skin **新制作**

振付: デヴィッド・ドウソン

音楽: ヨハン・ゼバスティアン・バッハ

美術: デヴィッド・ドウソン

衣裳: 竹島由美子

照明: バート・ダルハイゼン

Choreography by David DAWSON

Music by Johann Sebastian BACH

Set Designer: David DAWSON

Costume Designer: TAKESHIMA Yumiko

Lighting Designer: Bert DALHUYSEN

英国の振付家デヴィッド・ドウソンによる作品で、2000年にオランダ国立バレエで初演されました。ドウソンはプログラムノートで、この作品でクラシックバレエダンサーとしてのキャリアに別れを告げ、新たな表現を目指したと語っています。バッハのピアノコンチェルトにのせて踊られる、バランシンを思わせるネオ・クラシック・スタイルのバレエは見るものを魅了します。



Photo by Ian Whalen

シンフォニー・イン・C Symphony in C

振付：ジョージ・バランシン

Choreography by George BALANCHINE
© School of American Ballet

音楽：ジョルジュ・ビゼー

Music by Georges BIZET

衣裳：大井昌子

Costume Designer : OOI Masako

照明：磯野 睦

Lighting Designer : ISONO Mutsumi

The Performance of Symphony in C, a Balanchine® Ballet, is presented by arrangement with The George Balanchine Trust and has been produced in accordance with the Balanchine Style® and Balanchine Technique® Service standards established and provided by the Trust.

1947年パリ・オペラ座に客員振付家として招かれたバランシンが、フランス人作曲家ビゼー作曲「交響曲第1番ハ長調 (in C)」に振付けた、筋のない1幕バレエ作品です。パリ・オペラ座バレエ団では『水晶宮』というタイトルで初演され、翌年ニューヨーク・シティ・バレエが上演した際、女性ダンサーが全員白いクラシック・チュチュを着て踊り、『シンフォニー・イン・C』と改題されました。変化する曲想にあわせて、4つの楽章ごとにプリンシパル一組、ドゥミ・ソリスト二組、コール・ド・バレエが登場します。軽快な第1楽章、叙情的な第2楽章、躍動的な第3楽章、そして第4楽章から出演者全員が勢揃いする華やかなフィナーレへと続きます。バランシン特有の素早く美しい動きを駆使し、最後は独特な高揚感に包まれる名作です。



2018年公演より（撮影：鹿摩隆司）

指揮：ポール・マーフィー

Conductor: Paul MURPHY

管弦楽：東京交響楽団

Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra

スタッフ プロフィール

A Million Kisses to my Skin

振付: **デヴィッド・ドゥソン**

Choreography by David DAWSON

ロンドン生まれ。英国ロイヤルバレエ学校卒業後、1991年ローザンヌ国際バレエコンクール入賞、同年バーミンガム・ロイヤルバレエに入団。94年イングリッシュ・ナショナル・バレエにソリストとして入団、翌年オランダ国立バレエに移籍。2000年にはフランクフルト・バレエ団に移り、ウィリアム・フォーサイスの作品を踊る。同バレエ団で2年余りダンサーとして活躍後、振付家としての活躍を開始した。今日のクラシックバレエ界における最も優れた英国人振付家の一人で、現代的な手法でクラシックバレエを振り付け、彼の著名な作品群は世界中で上演され高い評価を得ている。

『The Grey Area』でブノワ賞振付部門受賞、同作品で英国舞踊批評協会賞にノミネート、マリンスキー劇場バレエのために振り付けた『Reverence』で英国人振付家初となる、ロシアの舞台芸術における最も権威のあるゴールデン・マスク賞を受賞するなど数々の賞を受賞している。

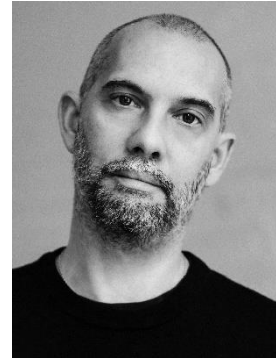


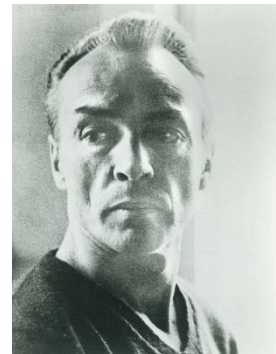
Photo by Oliver Look

シンフォニー・イン・C Symphony in C

振付: **ジョージ・バランシン**

Choreography by George BALANCHINE

1904年サンクトペテルブルグ生まれ。帝室バレエ学校に学ぶ。21年に国立オペラ・バレエ（現マリンスキー劇場バレエ）に入団、前衛振付家として頭角をあらわす。並行して、ペトログラード音楽院で音楽理論とピアノを学んだ。24年同僚ダンサーと巡業中だったパリで、ディアギレフのバレエ・リュスに入団する。29年に同団が解散するまで、『アポロ』『放蕩息子』など10作を振付けた。33年に渡米、リンカン・カースティン等とスクール・オブ・アメリカン・バレエを開校する。48年に発足したニューヨーク・シティ・バレエを終生の活動拠点とし、アブストラクト・バレエを主体とする、スピード感溢れる清新なスタイルを確立した。アメリカを代表する振付家であるだけでなく、20世紀の最も重要な振付家の一人。83年ニューヨークにて死去。



指揮: **ポール・マーフィー**

Conductor: Paul MURPHY

バーミンガム・ロイヤルバレエとそのオーケストラ、ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席指揮者。劇場での公演に加え、コンサートや収録でも共に仕事をしている。1994年以来、ロイヤルオペラハウス管弦楽団と定期的に仕事をしている。その他、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ハレ管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBCナショナル・ウェールズ管弦楽団、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、BBCコンサート・オーケストラ、オペラ・ノース管弦楽団、バーミンガム市交響楽団等、英国の優れたオーケストラを多数指揮している。海外では、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ワシントン・ナショナル・オペラ管弦楽団、ソフィア・オペラ管弦楽団、シチリアのテアトロ・マッシモ管弦楽団等と仕事をしている。また、ニューヨーク・シティ・バレエ、バレエ・アム・ライン、ロイヤル・フランダース・バレエ、オランダ国立バレエ、最近ではオーストラリア・バレエのゲスト指揮者を務めている。CD のリリースではハレ管弦楽団（サン・サーンスのピアノと管弦楽曲全曲）、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との共演がある。97年、英国王立音楽院のアソシエイトに選ばれた。新国立劇場では、『アラジン』『カルミナ・ブラーナ』『ガラントゥリーズ』『火の鳥』『シンフォニー・イン・C』『ペンギン・カフェ』『パゴダの王子』『白鳥の湖』ほかを指揮している。



コッペリア

2023年 2/23~26
＜レパートリー＞
Repertoire

Coppélia Ballet by Roland Petit

オペラパレス | 5回公演

●会員先行販売期間: 2022年12/10(土)~12/13(火)

●一般発売日: 2022年12/17(土)

2023年 2/23(木・祝) 14:00、24(金) 19:00、25(土) 13:00/18:00、26(日) 13:00

料金 S:13,200円 A:11,000円 B:7,700円 C:4,400円 D:3,300円

ローラン・プティが画期的な演出と振付で創作した『コッペリア』は、1975年にマルセイユ・バレエで誕生しました。それまで世界中で上演されていた『コッペリア』が19世紀の時代精神を体現するバレエだとすると、本作品は現代に生きる人々が主人公で、時代を超越した人生と愛がテーマとしてはっきり浮き上がります。プティ独特のユーモアやフランス流の洒落た仕掛けの妙味はもちろん、ラストに待ち受ける奥深いメッセージが心に残る作品です。

2021年5月に上演予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により公演中止となり、全キャストを4日間無観客公演にてライブ配信いたしました。16.7万人を超える視聴者にご覧いただき、大きな話題を呼んだ作品を、改めてお客様にお届けいたします。

振付: ローラン・プティ

芸術アドバイザー/ステージング: ルイジ・ボニーノ

音楽: レオ・ドリーブ

美術・衣裳: エツィオ・フリジェーリオ

照明: ジャン＝ミッシェル・デジレ

Choreography by Roland PETIT

Artistic Advisor/Staging: Luigi BONINO

Music by Léo DELIBES

Set and Costume Designer: Ezio FRIGERIO

Lighting Designer: Jean-Michel DÉSIÉ

指揮: マルク・ルホワ＝カラタユード

管弦楽: 東京交響楽団

Conductor: Marc LEROY-CALATAYUD

Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra

ものがたり

人気者の衛兵たちと街の女の子で賑わうマルセイユの広場。スワニルダはフランツに夢中だが、フランツの方は気もそぞろ。彼は、コッペリウスの子のバルコニーに座っているクールな美少女コッペリアに心惹かれていたのだ。

「彼を惑わすコッペリアってどんな女の子なの？」居てもたってもいられないスワニルダは、コッペリウスが落とした鍵を拾い、その留守宅に友人たちと忍び込む。

人形の腕や足などの部品が無数に置かれているコッペリウスの子の家。帰宅したコッペリウスは、スワニルダたちを追い出すと、コッペリアとシャンパンで乾杯。愛しそうに彼女の手を取りワルツを踊る。だが何をしてもコッペリアは無表情。それもそのはず、彼女はコッペリウスが作った自動人形だった。ダンディな紳士コッペリウスの子の秘密はそれだけではない。彼は、若いスワニルダに想いを寄せ、彼女そっくりに作った人形で、孤独を慰めていたのだ。

そこにコッペリアに会おうとフランツが忍び込んできた。コッペリウスは、彼を眠らせ、その魂を抜き出しコッペリアに注入。彼女を人間にしようというのだ。すると本当にコッペリアが動き出したではないか！コッペリアは気ままにふるまいコッペリウスを翻弄する。実はこれにはからくりがあった。スワニルダがコッペリアの振りをしていたのだ。真相が明らかになると、フランツは自分の本当の気持ちに気が付く。幸せな若いカップルは友人たちの祝福を受けるが、愛するものを失ったコッペリウスは独り茫然と立ち尽くすのだ。



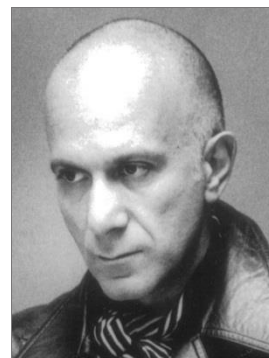
2021年無観客公演ライブ配信より（撮影：瀬戸秀美）

スタッフ プロフィール

振付:ローラン・プティ

Choreography by Roland PETIT

パリ生まれ。オペラ座バレエ学校で学んだ後、パリ・オペラ座バレエに入団。当時芸術監督だったセルジュ・リファールらに才能を認められるが、自由な創作の場を求めて20歳の時に退団。ジャン・コクトー、パブロ・ピカソなどの芸術家、知識人と交流しながら『若者と死』(1946年)、『カルメン』(49年)などの力作を次々と発表し、一躍時代の寵児となった。50～60年代には映画やミュージック・ホール、テレビの分野に精力を傾け、パリ・オペラ座バレエに振り付けた『ノートルダム・ド・パリ』(65年)以降さらに自由で洗練された表現に結びついていく。72年にマルセイユ・バレエの芸術監督に招かれ、98年に同団を退くまで、『アルルの女』『ブルスト』(74年)『長靴をはいた猫』(85年)『マ・バヴロヴァ』(86年)など、多くの新作を発表。ダンサーとしても独自の存在感を発揮。プティが生み出すバレエの魅力はパリっ子らしい軽妙洒脱さ、小粋さにあると言われ、バレエ一筋の経歴ではなくミュージカルやレビューなどを手掛けた経験が自由さや柔軟さを作り出す。2001年ボリショイ劇場での『スペードの女王』の制作などに対して、ロシアの最高国家章をフランス人で初めて受章した。11年7月10日、スイスのジュネーヴで死去。



芸術アドバイザー/ステージング:レイジ・ボニーノ

Artistic Advisor/Staging: Luigi BONINO

イタリアのブラ生まれ。10歳の時にトリノでバレエを始める。1973年にクルペリ・バレエに入団し、プリンシパル・ダンサーとして『ロメオとジュリエット』などを踊る。75年にローラン・プティのマルセイユ・バレエに移籍。以来、『コッペリア』のコッペリウス、『若者と死』、『ノートルダム・ド・パリ』のフロロ、『こうもり』のウルリックなど、『長靴をはいた猫』の猫、『眠れる森の美女』のカラボスなど、数々のプティ振付作品を踊る。これまでにマーゴ・フォンテイン、ジジ・ジャンメール、ナタリヤ・マカロワ、カルラ・フラッチなどと共演。また91年にマルセイユで初演の『ダンシング・チャップリン』では彼の個性が遺憾なく発揮され好評を得た。プティ作品の指導をまかされており、ナポリのサンカルロ歌劇場、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座バレエ、牧阿佐美バレエ団、ボリショイ劇場などによる公演で、プティを補佐してきた。新国立劇場へは2002年ローラン・プティの『こうもり』初演で振付指導をおこなうと同時にウルリック役でも出演。軽やかな身のこなしと絶妙の演技でプティ・バレエの真髓を体現してみせた。その後、『こうもり』再演での振付指導に続き、新国立劇場バレエ団でのプティ『コッペリア』の上演でコッペリウスを踊り、振付指導も行った。



美術・衣裳:エツイオ・フリジェーリオ

Set and Costume Designer: Ezio FRIGERIO

建築を学んだ後、ミラノのピッコロ・テアトロで衣裳製作を手がけたことから舞台芸術分野にかかわるようになる。アート・ディレクターとプロデューサーも担当し、ピランデルロ『山の巨人たち』、プレヒト『屠殺場の聖ヨハンナ』、シェイクスピア『リア王』、パリ・オデオン座で初演のコレネイユ『舞台は夢』、フィリッポ『大魔術』など重要な戯曲作品から独特の舞台を立ち上げる。オペラの美術デザインとしてはパリ・オペラ座でリリアーナ・カヴァーニが演出したケルビーニ『メディア』、モネ劇場のシュトラウス『エレクトラ』(ヌリア・エスペル演出)、ミラノ・スカラ座のヴェルディ『エルナーニ』(ルーカ・ロンコーニ演出)など、映画の美術も手がけラブノー監督の『シラノ・ド・ベルジュラック』では1990年アカデミー美術賞にノミネートされている。2022年2月逝去。



スタッフ プロフィール

照明:ジャン=ミッシェル・デジレ
 Lighting Designer: Jean-Michel DÉSIRES

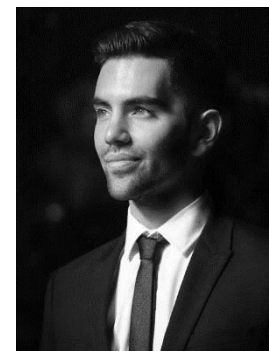
マルセイユ生まれ。地元マルセイユのオペラ劇場に就職し、プティと出会う。マルセイユ・バレエのツアーに同行して世界各地を回り、プティの妻ジジ・ジャンメールのショー公演にも参加する。1996年、プティがミラノ・スカラ座のカルラ・フラッチのために振り付けた『シェリ』で照明を担当。同年のパリ・オペラ座バレエでの『ノートルダム・ド・パリ』再演、その後スカラ座、牧阿佐美バレエ団、ブエノスアイレスのコロン劇場での同作品上演にあたり照明を監修する。以後、マルセイユ国立バレエでの仕事を経てプティとの仕事を再開、『アルルの女』『プルースト』『デューク・エリントン・バレエ』『スペードの女王』など、世界各地のバレエ団でプティ振付作品が上演される際にスタッフとして参画している。



指揮:マルク・ルホワ=カラタユード
 Conductor: Marc LEROY-CALATAYUD

スイス・ローザンヌ生まれ。2016年から19年までボルドー国立歌劇場で副指揮者を務め、オペラやバレエ公演、交響曲コンサートなどを定期的に指揮。Akademie Musiktheater Heute (2018-2021) のコンダクティング・フェローであり、ウィーンとチューリッヒでマーク・ストリンガーとヨハネス・シュレーフリに指揮を学ぶ。ウラディーミル・ユロフスキやベルナルド・ハイティンクなどの指揮者のマスタークラスに参加。21/22シーズンのカンヌ管弦楽団のアーティスト・イン・レジデンスに任命された。

ヘンデル、モーツァルトからラヴェル、ヴァイル、リームまで、幅広いオペラのレパートリーを持ち、最近では、シャンゼリゼ劇場でのドニゼッティ『愛の妙薬』、アルチュール・ラヴァンディエの『龍王の伝説』、ボルドー国立歌劇場でのロッシニ『セビリアの理髪師』とアンリ・ラポー『マルーフ、カイロの靴屋』、アンサンブル・ノマドとの『七つの大罪』などを指揮している。バレエ指揮者としてはキリアン、ベジャール、ロビンス作品でデビューし、ボルドー国立歌劇場バレエ公演でD. ビントレー振付のプロコフィエフ『シンデレラ』、F. アシュトン『ラ・フィーユ・マル・ガルデ』などを指揮している。



©Cyril Cosson

2023年4/29~5/6

シェイクスピア・ダブルビル

夏の夜の夢<新制作> / マクベス<新制作・世界初演>

Shakespeare Double Bill

The Dream Company Premiere / Macbeth New Production, World Premiere

オペラパレス | 7回公演

●会員先行販売期間: 2023年2/11(土・祝)~2/14(火)

●一般発売日: 2023年2/23(木・祝)

2023年4/29(土・祝)14:00、30(日)14:00、5/2(火)19:00、3(水・祝)14:00、4(木・祝)14:00、5(金・祝)14:00、6(土)14:00

料金 S:13,200円 A:11,000円 B:7,700円 C:4,400円 D:3,300円

シェイクスピアの戯曲をもとにした作品を新制作にて、二本立てでお届けします。アシュトンの英国の雰囲気漂う『夏の夜の夢』、そして国際的に目覚ましく活躍しているウィル・タケットが新国立劇場のために創る『マクベス』のダブルビル。伝統と革新の二作品をぜひお楽しみください。

夏の夜の夢 The Dream **新制作**

振付: フレデリック・アシュトン

音楽: フェリックス・メンデルスゾーン

編曲: ジョン・ランチベリー

Choreography by Sir Frederick ASHTON

Music by Felix MENDELSSOHN

Music arranged by John LANCHBERY

英国バレエの巨匠フレデリック・アシュトンによる、シェイクスピアの戯曲をもとにしたバレエ。まるで絵本の世界から飛び出したような森と妖精たちの世界が、細やかな足捌きで表現されるステップや英国らしい豊かなマイムによって華麗に描かれます。妖精パックが引き起こす人間たちの騒動のようなコミカルなシーン、妖精の女王タイターニアと王オベロンによる美しいパ・ド・ドゥなども見どころです。

2022年1月の「ニューイヤー・バレエ」で上演予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により公演中止となり、この度の上演と相成りました。



英国ロイヤルバレエ公演より ©2017 ROH. Photograph by Tristram Kenton

マクベス Macbeth **新制作・世界初演**

振付：ウィル・タケット

Choreography by Will TUCKETT

音楽：ジェラルディン・ミュシャ

Music by Geraldine MUCHA

編曲：マーティン・イエーツ

Music arranged by Martin YATES

オリヴィエ賞など数多くの賞を受賞し、世界的に活躍しているウィル・タケットを迎え、新国立劇場バレエ団から世界に発信するオリジナルバレエを上演します。題材として選ばれたのはシェイクスピア劇の中でも予言、野心、疑念、陰謀、錯乱と極限へと追い込まれていく登場人物の心理を重厚に描いた『マクベス』。スコットランドの作曲家、ジェラルディン・ミュシャによって作曲された同名作品にインスピレーションを得て、オペラや映画でも幾度となく題材として取り上げられてきたこの物語が、タケットの手で新たに生まれ変わります。近年日本でも、バレエ、オペラ、ミュージカル、演劇といった舞台芸術を織り込んだ演出で好評を得たタケットが新国立劇場バレエ団とどのような舞台を創りだすか、どうぞご期待ください。

指揮：マーティン・イエーツ

Conductor: Martin YATES

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

合唱：東京少年少女合唱隊

Chorus: The Little Singers of Tokyo

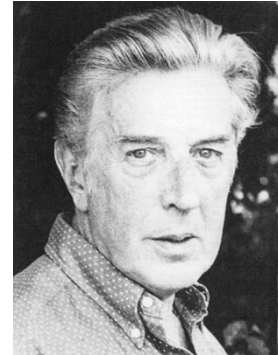
スタッフ プロフィール

夏の夜の夢 The Dream

振付:フレデリック・アシュトン

Choreography by Sir Frederick ASHTON

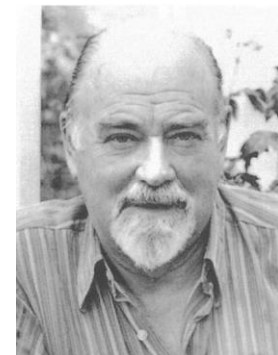
1904年、南エクアドルに生まれる。英国人ダンサー、振付家。アンナ・パブロワの舞台を見てバレエを志し、英国に戻って学業を終えた後レオニード・マシーンに入門。さらに、マリー・ランベールほかの著名教師に師事して種々の舞台に立つ一方、26年に処女作『ファッションの悲劇』を発表する。28年にはパリのイダ・ルビンスタインの舞踊団にダンサーとして参加し、プロニスラヴァ・ニジンスカの作風に強い影響を受ける。35年英国ロイヤルバレエの前身であるヴィック・ウェルズ・バレエにダンサー兼首席振付家として招かれる。同時期に入団しやがて英国最高のバレリーナに成長するマーゴ・フォンテインに多くの新作を振り付け、バレエ団発展の原動力となるとともに、英国バレエ独自の気風を確立した。63年には設立者ニネット・ド・ヴァロワの後を継いでロイヤルバレエの芸術監督に就任。70年の退任後も80年代半ばまで創作を続け、88年に英国サセックスにて永眠。主な作品として、『シンデレラ』『ラ・フィエユ・マル・ガルデ』『二羽の鳩』『夏の夜の夢』『田園の出来事』などがある。



編曲:ジョン・ランチベリー

Music arranged by John LANCHBERY

ロンドン生まれ。奨学金を得て王立音楽院でヘンリー・ウッドらに師事し作曲を学ぶ。ロンドン・メトロポリタンバレエの音楽監督を経て、サドラーズ・ウェルズ・バレエの指揮者となる。1960年よりロイヤルバレエの首席指揮者に指名され、フレデリック・アシュトン振付の『リーズの結婚』をはじめとする多くのバレエ・スコアの編曲に携わる。72年からはオーストラリア・バレエの音楽監督を務め、『ドン・キホーテ』『メリー・ウィドウ』などのバレエ・スコアを編曲した。さらに映画やBBCのテレビ番組の音楽も手がけ、ベアトリス・ポッターの映画音楽では高い評価を受けた。78年から80年にかけてアメリカン・バレエ・シアターの音楽監督を務めたのち、世界の主要歌劇場でバレエ指揮者として活躍。91年にはホルドフ・ヌレエフの最後の仕事となったパリ・オペラ座バレエ『ラ・バヤデール』の編曲を仕上げた。受賞は数多く、90年には音楽の貢献に対してOBEを授与されている。97年よりオーストラリア・バレエの首席客員指導員だった。新国立劇場へは99年『シンデレラ』で初登場、2000年初演の牧阿佐美改訂振付『ラ・バヤデール』では編曲を手がけるとともに指揮を務めた。03年死去。



マクベス Macbeth

振付:ウィル・タケット

Choreography by Will TUCKETT

ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、日本、中国で活動し、数々の賞を受賞している国際的な演出家・振付家。25年以上にわたり英国ロイヤルバレエのメンバーとして活動し、振付を行う。劇場での活動のほか、オペラ、ミュージカル、映画など様々な分野で活躍し、これまでに英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエ、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、カナダ国立バレエ、中国国立バレエ、テキサス・バレエ・シアター、サラソタバレエ、英国ロイヤルオペラ、オペラノース、ウェルズ国立オペラ、ガーシントン・オペラ、サドラーズ・ウェルズ、バービカン、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー、シェイクスピアズ・グローブ、アルメイダシアター、パルコ、KAAT、セージ・ゲーツヘッド、ホワイトチャペル・ギャラリー、テート・モダン、ナショナルギャラリー、BBC、チャンネル4、スカイ・アーツなどで振付・演出を行っている。2006年、英国ロイヤルオペラ初のROH2クリエイティブ・アソシエイトに任命され、新しい観客や家族のための革新的な作品の考案と提供を担当している。これらの作品は、オペラハウス内および英国内外のツアーで上演されている。彼のプロダクションである『The Wind in the Willows』は、ロイヤルオペラのショーとして初めてウエスト・エンドに商業的に移され、14年オリヴィエ賞の最優秀エンターテインメント賞を受賞した。彼のプロダクションの映像には、『ピノキオ』(BBC)、ストラヴィンスキー『兵士の物語』、ピーター・シェイファー『ピサロ』(WOWOW)、『Titian:Metamorphosis』(BBC)、『Elizabeth』(スカイ・アーツ)などがある。

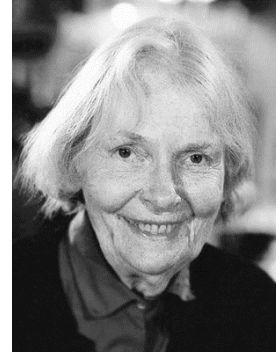


スタッフ プロフィール

音楽:ジェラルディン・ミュシャ

Music by Geraldine MUCHA

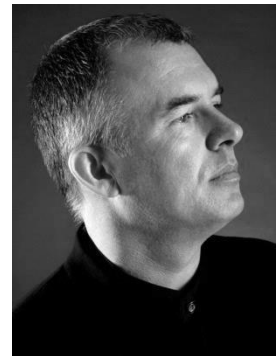
1917年ロンドン生まれ。英国王立音楽院で教鞭をとるバリトン歌手の父とミュージカル女優の両親のもと育ち、学校を卒業後は英国王立音楽院で作曲と指揮を学ぶ。ミュシャの音楽は主にスコットランドの祖先に対する深い傾倒によって特徴付けられ、学生時代はケルト・ロマン派の代表的作曲家アーノルド・バックスに師事し影響を受けた。彼女の初期のバレエ作品は、サドラーズ・ウェルズ・バレエの指揮者であるコンスタン・ランバートから賞賛され、彼女の最初のピアノ四重奏曲は43年にウィグモア・ホールで演奏された。42年画家アルフォンス・ミュシャの息子で作家のジリ・ミュシャと結婚。45年にブラハに移住し、第1回ブラハの春音楽祭にも参加した。不安定なブラハの政情の中、生計をたてるため音楽出版社で働く傍ら作曲した作品の中には、ピアノ協奏曲とバレエ『マクベス』からの組曲が録音されている。50年に共産主義政権に投獄された夫のキャリアが徐々に再起し、60年代にアルフォンス・ミュシャのデザインに再び注目が集まると、展覧会を制作し各地を飛び回るようになった。そんな中でイギリスの音楽家との交流を続け、彼女の作品はBBC放送やロンドンでのコンサートで演奏された。冷戦時代が終わったブラハで、彼女はチェコの演奏者から常に高い評価を受け、晩年を迎えてもその作品は演奏され続けたばかりでなく、作曲の委嘱も後を絶たなかった。2012年逝去。



指揮:『マクベス』編曲:マーティン・イエーツ

Conductor / Music arranged by Martin YATES

20年余りにわたり多彩なジャンルで活躍してきた英国人指揮者。ピアノ、作曲、指揮を学んだ後、イスラエル・ナショナル・オペラで指揮者としてデビュー。以降、英国内のロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バーミンガム市立交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー、ハレ管弦楽団などのオーケストラに客演し、ヨーロッパ各地の管弦楽団に招かれている。スウェーデン室内管弦楽団ではマーク＝アンソニー・タネジの『A Prayer Out of Stillness』の世界初演を指揮。また一流の伴奏者としても評価が高く、ホセ・カレーラス、バーバラ・ヘンドリックス、ブリン・ターフェル、モンセラート・カバリエ、ロベルト・アラニーヤ、アンジェラ・ゲオルギュー、ヨーヨー・マら世界的に有名な芸術家と共演している。またミュージカル指揮者としても知られており、ウェスト・エンドのミュージカルのヒット作の音楽監督を多数務めている。バレエは音楽活動の中心的な位置を占めており、英国ロイヤルバレエとは、2004年2月にストラヴィンスキー作曲『アゴン』でデビューして以来、これまでに『マノン』『ロメオとジュリエット』『うたかたの恋』『七つの大罪』『白鳥の湖』を指揮したほか、同団のツアー公演に同行している。ノルウェー国立バレエ団、フィンランド国立バレエ団にもたびたび客演し、成功を収める。新国立劇場では、『マノン』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ドン・キホーテ』を指揮している。



白鳥の湖

2023年 6/10~6/18
〈レパートリー〉
Repertoire

Swan Lake

オペラパレス | 9回公演

●会員先行販売期間: 2023年 3/18(土)~3/21(火・祝)

●一般発売日: 2023年 3/25(土)

2023年 6/10(土)14:00、11(日)13:00/18:30、13(火)~16(金)のうち3日程、17(土)13:00/18:30、18(日)14:00

料金 S:14,300円 A:12,100円 B:8,800円 C:6,600円 D:4,400円

2021/2022シーズンのオープニングで、大好評を得たプロダクションがシーズンの締めくくりに登場します。サー・ピーター・ライトによるプロダクションは、英国らしい演劇的要素が盛り込まれた重厚な作品となっており、英国でも長年上演され愛され続けています。各キャラクターの人物造形も明確で、ドラマティックな展開が特徴です。クラシックバレエの王道の魅力に、ドラマ性が加わった『白鳥の湖』をどうぞお楽しみください。

振付: マリウス・ブティパ、

レフ・イワーノフ、ピーター・ライト

演出: ピーター・ライト、ガリーナ・サムソワ

音楽: ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

美術・衣裳: フィリップ・プロウズ

照明: ピーター・タイガン

指揮: ポール・マーフィー / 冨田実里

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Choreography by Marius PETIPA,

Lev IVANOV and Sir Peter WRIGHT

Production by Sir Peter WRIGHT

in association with Galina SAMSOVA

Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY

Set and Costume Designer: Philip PROWSE

Lighting Designer: Peter TEIGEN

Conductors: Paul MURPHY / TOMITA Misato

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

ものがたり

先王である父の死後、王子ジークフリードは新たな王として戴冠し、結婚することが求められていた。彼はそれまでの自由を失うことを恐れ、愛してもいない結婚相手を選ぶことにためらいを感じていた。ジークフリード21歳の誕生日の夜、彼に弓矢のプレゼントを贈るために宮廷の友人たちが集った。友人でもある侍従ベンノがジークフリードの気晴らしのために催した宴の真最中に、王妃である母が現れる。宮廷がまだ喪に服している中での大騒ぎにショックを受けた王妃は、翌日には花嫁を選ばなくてはいけないと王子に告げ、意気消沈した彼をその場に残して立ち去る。ベンノはジークフリードを元気づけようと、友人たちと未来の王位継承を祝って乾杯のダンスを踊る。友人たちが帰っていった後、白鳥の一群が空を渡っていく。ベンノはジークフリードにプレゼントの弓矢を試すよう促し、二人は白鳥たちを追っていく。

湖岸に着いたジークフリード王子は、ベンノに白鳥を探しに行かせる。一人残った王子は、そこに魔術師ロットバルト男爵の邪悪な存在を感じとる。突然一羽の白鳥が舞い降りてくる。そして王子が驚き見つめるなか、美しい乙女に姿を変える。その若い娘こそオデット姫であった。オデットと彼女の仲間たちはロットバルト男爵によって白鳥の姿に変えられ、夜の間だけは人間の姿に戻れるのだ。オデットにかけられた魔法は、まだ恋をしたことをない者が彼女に永遠の愛を誓い、結婚の約束をすることで解くことができるという。ジークフリードはオデットへの永遠に続く真実の愛を誓う。姿を現したロットバルトにジークフリードが矢を向けるが、オデットはそれを遮り、魔術師が死ぬと、魔法の呪いは永久に解けなくなると話す。さらにオデットは、もしジークフリードが愛の誓いを破るようなことがあったら、彼女は永遠に白鳥の姿でいなくてはならないと伝える。やがて夜明けが訪れ、オデットと仲間たちは白鳥の姿に戻り、湖へと帰っていく。

翌日、壮麗なレセプションには、ジークフリード王子の結婚相手の候補として3人の王女が招かれていた。3人の王女たちはそれぞれジークフリードのために踊りを披露するが、彼は心ここにあらずの様子で、花嫁を選ぶことを断ってしまう。ファンファーレが鳴り響き、予定されていなかった客人の到来を告げる。それは使節に身を扮したロットバルトと、魔法でオデットそっくりに姿を変えた、彼の娘オディールだった。

王子は驚くほどオデットに似たこの見知らぬ客人に心奪われ、やがてこの女性が白鳥の姫だと信じ込んでしまう…。



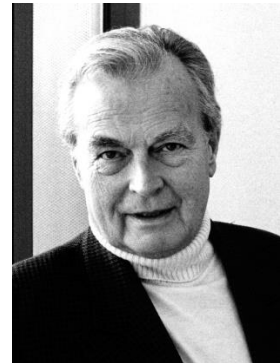
2021年公演より（撮影：鹿摩隆司）

スタッフ プロフィール

振付・演出: ピーター・ライト

Choreography and Production by Sir Peter WRIGHT

ロンドン生まれ。複数のバレエ団でダンサーとして活躍。1957年サドラーズウェルズ・シアター・バレエで最初の振付作品『青いバラ』を創作。59年サドラーズウェルズ・オペラでバレエ・マスター、英国ロイヤルバレエ学校でバレエ教師を務める。61年ジョン・クランコ設立のシュツットガルト・バレエ団でバレエ教師及びバレエ・マスターとして活躍。シュツットガルト・バレエ団で初演された初の改訂振付作品『ジゼル』は、後に当作品は英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエを始め世界の多くのバレエ団で上演。この他にも『眠れる森の美女』『コッペリア』『白鳥の湖』など彼の改訂した古典作品は世界各国のバレエ団でレパートリーとして上演されている。60年代テレビでのバレエ作品やウェスト・エンドのミュージカルの分野でも成功を収めた。69年ケネス・マクミランのアソシエイト・ディレクターとして英国ロイヤルバレエに戻り、77年サドラーズ・ウェルズ・ロイヤル・バレエ（後のバーミンガム・ロイヤルバレエ）の芸術監督に就任、95年芸術監督退任後、名誉芸術監督。バレエ界の数々の要職を歴任。85年大英帝国勲章（CBE）、90年エリザベス2世戴冠賞、93年ナイト爵授与など。

**演出: ガリーナ・サムソワ**

Production in associated with Galina SAMSOVA

スターリングラード（現ヴォルゴグラード）生まれ、キエフで活動を始める。西側への移住許可を受け、カナダ国立バレエに入団。プリンシパルとして数多くの作品を踊る。パリ国際舞踊フェスティバルでオリコフスキー『シンデレラ』を踊り金メダル受賞。その後ロンドン・フェスティバル・バレエに入団し活躍した。古典レパートリーの優れた表現者であり、カーター、ダレル、ハインド、プロコフスキーらの新作に主演。彼女のオデット／オディール、オーロラ姫、キトリは世界中で喝采を受け、またその演劇的な才能は、プロコフスキー『アンナ・カレーニナ』、マクミラン『イザドラ』、ダレル『シェリ』で発揮された。1978年サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエにプリンシパル兼教師として入団、81年に自身の演出で出演した『バキータ』が好評を得る。ライト版『白鳥の湖』でも共同で演出をおこなった。国外でも演出家としての評判が高まり、『ラ・バヤデール影の王国』『海賊パ・ド・ドゥ』『ワルブルギスの夜』『ジゼル』『眠れる森の美女』等を手がけた。



91年より97年までの間、スコティッシュ・バレエの芸術監督を務め、95年には同団のために全幕版『白鳥の湖』を演出、同年ウクライナにて名誉教授号を授与。2021年12月逝去。

美術・衣裳: フィリップ・プロウズ

Set and Costume Designer: Philip PROWSE

英国のスレイド・スクール・オブ・ファイン・アーツで学び、1961年にデザイナーとしてデビュー。演出家としても活躍し、1970～2003年までグラスゴー市民劇場の共同芸術監督を務める。母校のスレイド・スクールで舞台美術を教え、後に同校の教授となった。



スタッフ プロフィール

照明:ピーター・タイガン

Lighting Designer: Peter TEIGEN

ノルウェー・オスロ生まれ。英国に渡り、ロンドン・シティ・バレエなどで専属照明デザイナーとして活躍。フリーとなってからは、マシュー・ボーン、マーク・ボールドヴィン、デヴィッド・ビントレー、ピーター・ライトといった今日高く評価されている振付家たちとともに舞台を制作。現在、英国バーミンガム・ロイヤルバレエ照明デザイン・コンサルタントとして海外公演における折衝役も担っている。



指揮:ポール・マーフィー

Conductor: Paul MURPHY

※15ページ「ニューイヤー・バレエ」を参照



指揮:富田実里

Conductor: TOMITA Misato

※8ページ『ジゼル』を参照



こどものためのバレエ劇場 2022

2022年 7/27~7/31
<レパートリー>
Repertoire

ペンギン・カフェ

Ballet for Children 2022 'Still Life' at the Penguin Café

オペラパレス | 8回公演

●会員先行販売期間: 2022年 5/28(土)~5/30(月)

●一般発売日: 2022年 6/5(日)

2022年 7/27(水) 12:30、28(木) 12:30、29(金) 12:30/16:00、30(土) 12:30/16:00、31(日) 12:30/16:00

料金 子ども(4歳から小学生):2,750円 / おとな(中学生以上):5,500円

2022年の「こどものためのバレエ劇場」は、ビントレーの人気作品『ペンギン・カフェ』をお届けします。80年代に一大センセーションを巻き起こしたワールド・ミュージック・アンサンブル「ペンギン・カフェ・オーケストラ」の音楽を使用。可愛らしい動物の仮面を被って踊るダンサー、ポップで心地よい音楽で上演される作品の根底には、痛烈な文明批判と現代の環境問題にも通じるメッセージが含まれています。

作品の上演の前には絶滅危惧種の動物についてなどのプレトークを実施し、この作品が持つテーマ、ひいては環境問題について考えるきっかけになるような公演を目指します。

振付: デヴィッド・ビントレー

音楽: サイモン・ジェフス

美術・衣裳: ヘイデン・グリフィン

照明: ジョン・B・リード

Choreography by Sir David BINTLEY

Music by Simon JEFFES

Set and Costume Designer: Hayden GRIFFIN

Lighting Designer: John B. READ



2022年公演より (撮影: 鹿摩隆司)

スタッフ プロフィール

振付:デヴィッド・ビントレー

Choreography by Sir David BINTLEY

英国ハダーズフィールド生まれ。英国ロイヤルバレエ学校で学ぶ。1983年から93年の間、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエや英国ロイヤルバレエの振付家として活躍。その見事な振付はアシュトンやマクミランの流れを引く。93年にフリーランスになった時には、世界中の7カンパニーから新制作依頼が殺到した。その中にはミュンヘン・バレエの『コンプリート・コンソート』（94年）、シュツットガルト・バレエ団のために振付けた『エドワード2世』（95年）などがある。95年から2019年までバーミンガム・ロイヤルバレエ芸術監督を務める。その後も『アーサー王』『美女と野獣』『シラノ』などの新しい作品を創作している。『E=mc²』は10年にサウス・バンク・ショー・アワードを受賞、またローレンス・オリヴィエ賞にノミネートされた。19年大英帝国勲章（ナイト）を受勲。10年から14年まで新国立劇場舞踊芸術監督を務め、新国立劇場バレエ団のために08年に『アラジン』、11年『パゴダの王子』を振り付け、好評を得た。



音楽:サイモン・ジェフス

Music by Simon JEFFES

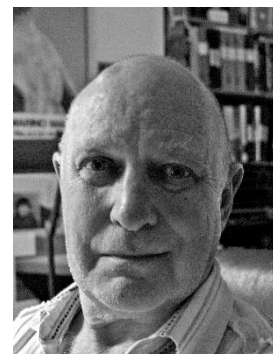
1949年、英国サセックス州生まれ。初期の音楽活動として前衛的な音楽、実験的ロック音楽を演奏し、その創意に溢れ傑出したアレンジに注目を集める。その後、72年ペンギン・カフェ・オーケストラを主宰し、作曲家として活躍する。その音楽は、クラシック音楽、アフリカのドラマ音楽、ジャズ、タンゴ、ミニマル音楽など様々な影響を受け、世界各地で熱狂をもって迎えられた。97年12月11日、脳腫瘍のため死去。



美術・衣装:ヘイデン・グリフィン

Set and Costume Designer : Hayden GRIFFIN

演劇の分野では世界初演作品30本を数え、英国ロイヤル・ナショナル・シアター（現英国ナショナル・シアター）、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー等のプロダクションに携わった。オペラでは英国ロイヤルオペラの『ファルスタッフ』『パルジファル』、アメリカ・メトロポリタンオペラの『コジ・ファン・トゥッテ』などがある。ヨーロッパ各国で活躍しており、映像の分野にも活動の場を広げている。『ペンギン・カフェ』はビントレーとの初のコラボレーションであり、その後『シラノ』『ホブソンの選択』『ジゼル』等の作品をデザインしている。



スタッフ プロフィール

照明: ジョン・B・リード

Lighting Designer : John B. READ

1992～2005年、英国ロイヤルオペラおよび英国ロイヤルバレエ、英国バーミンガム・ロイヤルバレエの照明デザイン・コンサルタントを務める。アシュトン、マクミラン、チャーダー、テトリー、ヌレエフ、ビントレー、マカロヴァ等の著名な振付家と関わっており、英国ロイヤルバレエでは、『白鳥の湖』『くるみ割り人形』『雪の女王』『うたかたの恋』『アナスタシア』『ラ・バヤデール』『パゴダの王子』等の公演に携わっている。



Dance

2022/2023 シーズン ダンス ラインアップ
〈計 3 演目 9 公演〉

2022 年 11 月
新国立劇場バレエ団

春の祭典

3回公演

2023 年 3 月
新国立劇場バレエ団

DANCE to the Future 2023

4回公演

2023 年 6 月
日本の洋舞 100 年・第4弾

ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2023

2回公演

2022年 11/25～27

新国立劇場バレエ団

春の祭典

The Rite of Spring

中劇場 | 3回公演

●会員先行販売期間：2022年9/23(金・祝)～9/26(月)

●一般発売日：2022年10/2(日)

2022年11/25(金)19:00、26(土)14:00、27(日)14:00

料金 S:6,600円 A:4,400円

新国立劇場で生まれたオリジナル・ダンス作品として、高い評価を受け再演を重ねる傑作『春の祭典』。この大切なレパートリーを新国立劇場バレエ団ダンサーが引き継ぎ上演し、さらに男性ダンサーたちが活躍する新作『半獣神の午後』を併演いたします。

春の祭典 The Rite of Spring (2008年「古楽とストラヴィンスキー」にて初演)

演出・美術原案：平山素子

振付：平山素子、柳本雅寛

Direction/Set Concept by HIRAYAMA Motoko

Choreography by HIRAYAMA Motoko and

YANAGIMOTO Masahiro

音楽：イーゴリ・ストラヴィンスキー

音楽監修：笠松泰洋

照明デザイン：小笠原 純

美術作品協力：渡辺晃一（作品《On An Earth》より）

出演：新国立劇場バレエ団

Music by Igor STRAVINSKY

Music Advisor: KASAMATSU Yasuhiro

Lighting Designer: OGASAWARA Jun

Cooperative Set Designer: WATANABE Koichi

Performers: Artists of The National Ballet of Japan

半獣神の午後 The Afternoon of a Faun (新作)

振付：平山素子

音楽：クロード・ドビュッシー、笠松泰洋

照明：森 規幸

出演：新国立劇場バレエ団

Choreography by HIRAYAMA Motoko

Music by Claude DEBUSSY, KASAMATSU Yasuhiro

Lighting Designer: MORI Noriyuki

Performers: Artists of The National Ballet of Japan



2008年公演「古楽とストラヴィンスキー」『春の祭典』より（撮影：鹿摩隆司）

スタッフ プロフィール

振付:平山素子

Choreography by HIRAYAMA Motoko

ダンサー、振付家。静謐さと昂揚を自在に奏でるダンサーとして観客の熱い支持を集め、2006年ポリショイ劇場バレエ団にてS.ザハロワに『Revelation』を提供し、振付家として頭角を現す。新国立劇場では07年『Life Casting』で朝日舞台芸術賞、09年2台ピアノ版によるデュオ作品『春の祭典』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞。16年に発表した、スペイン・バスク地方やアイヌ伝承音楽とコラボレートした『HYBRID』は、同年、欧州ツアーでも好評を博し、新境地を拓く。公演活動のほか、アーティストックスイミングやフィギュアスケートの日本代表選手の指導を手掛けるなど活躍の場は多岐にわたる。また、無重力空間でのダンス実験「飛天」や、CGを使ったダンス動作の自動振付実験など、独創的なプロジェクトにも積極的に研究協力している。筑波大学体育系准教授。

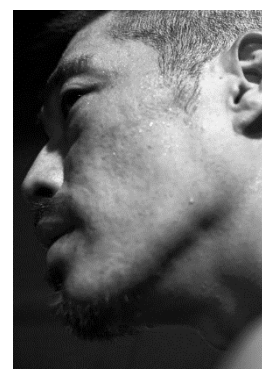


©MORI Yutaka

振付:柳本雅寛

Choreography by YANAGIMOTO Masahiro

ダンサー・振付家・+81主宰。大阪生まれ。1998-2006年までドイツ・オランダの舞踊団に所属し数多くの多彩な振付家達との作品創作に携わり西欧を中心に世界各地で踊る。帰国後は大植真太郎らとC/Ompany結成、欧州を軸に各地で公演。11年より自身のユニット+81を主宰。同世代の敬愛する仲間達と精力的に作品を発表している。13年JAPON dance project立ち上げメンバー、カンヌ旗揚げ公演を実施し、新国立劇場主催公演にて14年『CLOUD/CROWD』、16年『Move/Still』、18年『Summer/Night/Dream』を発表。17・18年六本木アートナイトへの参加や谷桃子バレエ団への振付など垣根を超えた活動を展開。独自のコンタクトメソッドと演劇的な身体表現の融合に新世界を+81の公演等で模索している。洗足音楽大学、ICHIBANGAI Dance studio、G-screw dance Labo講師。



新国立劇場バレエ団

2023年 3/24~26

DANCE to the Future 2023

小劇場 | 4回公演

●会員先行販売期間: 2022年12/18(日)~12/21(水)

●一般発売日: 2023年1/7(土)

2023年3/24(金)19:00、25(土)13:00/18:00、26(日)14:00

料金 A:6,600円 B:4,400円

新国立劇場バレエ団がコンテンポラリー・ダンスに出会い、自らの振付作品を発表する場である、新国立劇場バレエ団ならではのシリーズ企画「DANCE to the Future」。新国立劇場バレエ団の中から振付家を育てるプロジェクト「NBJ Choreographic Group」で生まれた選りすぐりの作品を上演します。

新国立劇場バレエ団 Choreographic Group 作品集 Works Selected from NBJ Choreographic Group

振付・出演: 新国立劇場バレエ団

Choreography and performance by

Artists of The National Ballet of Japan

アドバイザー: 遠藤康行

Advisor: ENDO Yasuyuki



2021年公演「Dance to the Future 2021: Selection」『Passacaglia』より (撮影: 瀬戸秀美)

2023 年 6/24~25

日本の洋舞100年・第4弾

ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2023

DANCE ARCHIVES in Japan 2023

中劇場 | 2回公演

●会員先行販売期間: 2023 年 4/15(土)~4/18(火)

●一般発売日: 2023 年 4/29(土・祝)

2023 年 6/24(土)14:00、25(日)14:00

料金 S:6,600 円 A:4,400 円

日本独自の創作舞踊のパイオニアたちの作品を復元上演する企画の第4弾です。

江口隆哉、石井漠、石井小浪、石井みどりらの下でダンスを始め、ともにその独創性と国内外での幅広い活動によって、日本独自のモダンダンスの第一人者として活躍した3人の女性舞踊家、芙二三枝子、折田克子、そしてアキコ・カンダ。その代表作をアーカイヴ上演し、日本の洋舞の原点を確認すると共に、「今」そして「未来」を展望し、日本人の魂に光をあてます。

照明: 杉浦弘行

Lighting Designer: SUGIURA Hiroyuki

音響: 山本 直

Sound: YAMAMOTO Nao

制作協力: (一社) 現代舞踊協会 ダンス・アーカイヴ企画運営委員会

Collaborated with CONTEMPORARY DANCE ASSOCIATION of JAPAN (CDAJ)

上演作品

土面 Cray Face (1972年初演)

振付: 芙二三枝子

Choreography by FUJI Mieko

音楽: 三木 稔、松村禎三 ほか

Music by MIKI Minoru, MATSUMURA Teizo
and others

出演: 高瀬譜希子、高比良 洋 ほか

Performers: TAKASE Fukiko, TAKAHIRA Yo
and others

「縄文土器や土偶を見つめていると、ねたましいまでに豊かな生の恍惚と常世にもつ人間の生の恐怖とが伝わってきます。そういう、いかにもいきものらしい縄文人に、私は今、大変魅力を感じています。そこに見出す呪術性は魔力を自分のものに取り入れて、自力で懸命に生きるものの心願の現れとして共感を覚えます。」(芙二三枝子)

芙二のすべての作品は“宇宙”に繋がり、「自然によって生かされている」という真理に行きつきます。



『土面』1972 公演より ©関戸基敬

夏畑 Endless Summer (1983年初演)

振付：折田克子

Choreography by ORITA Katsuko

音楽：マラン・ゴゾフ

Music by Marran GOSOV

出演：平山素子、島地保武

Performers: HIRAYAMA Motoko, SHIMAJI Yasutake

「それぞれの中に幾つもの過ぎた季節の記憶がある。」1983年、舞踊作家協会主催公演で共通テーマ「LIFE」のもと初演。折田克子と泉勝志による伝説的なデュエットのひとつです。その後、振付、構成、使用曲に改訂を重ね、群舞シーンも徐々に加わって、大作に発展しました。夜着である綿入の「どてら」と、すっぽりと顔を覆い隠す大きなつばの麦わら帽子も、作品の重要なメッセージです。



『夏畑』1992 公演より ©スタッフ・テス(株)

マーサへ より 三章「運命の道」 To Martha (2002年初演)

振付：アキコ・カンダ

Choreography by Akiko KANDA

音楽：フレデリック・ショパン

Music by Frederic CHOPIN

出演：折原美樹 ほか

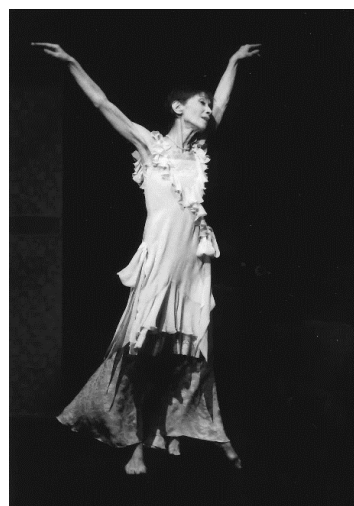
Performers: HARA Miki and others

マーサ・グラームの愛弟子として世界のダンスシーンに登場し、鮮烈な衝撃をもたらしたアキコ・カンダ。彼女が亡き師に捧げた『マーサへ』より「運命の道」を抜粋上演いたします。

＜消えるのを忘れた 今も熱い思い出
孤独の淵で 私を支えてくれるのは
あなたの瞳の なかにいる私と
向かいあう 時間だけ
私をつつむ愛と呼ぶあたにかい魂だけよ
マーサ どこにいるの

姿のない あなたを求めて泣き叫んでも 答えてくれる 声はない
でも私は顔をあげて 歩いていく 自分が えらんだ道なのだから＞

(詩：岩谷時子)



『マーサへ』2002 年公演より (撮影：池上直哉)

バルバラを踊る より Dancing to Barbara (1980年初演)

振付：アキコ・カンダ

Choreography by Akiko KANDA

音楽：バルバラ

Music by Barbara

出演：中村恩恵

Performer: NAKAMURA Megumi

1980年『バルバラを踊る』として発表、以後様々な構成で上演を重ねて来ました。孤高のシャンソン歌手バルバラの音楽に触発され、代表作「黒いワシ」を軸にソロナンバーとして創ったこの作品は、タイトルに拘わることなく、観る方に自由に解釈し感じ取っていただき、無条件にモダンダンスを楽しんでいただくのを目標にしてきました。今回はアキコ・カンダが最も多く踊った「黒いワシ」「我が喜びの復活」の2曲の組み合わせで上演いたします。

スタッフ プロフィール

振付: 芙二三枝子

Choreography by FUJI Mieko

(1923年～2018年)

石井漠、江口隆哉に師事、リトミックを小林宗作に学んだ。1955年、東京目白に舞踊研究所を設立、芙二三枝子舞踊団を結成。以来、独自のメソッドを開発して舞踊家を育て、意欲的な創作活動を展開する。61-72年までに6度受賞した芸術祭賞受賞作には『異郷人』『しまちゃび(孤島苦)』『こうのとりの鎮魂曲』『殉教』『昇れ太陽』『そこから』『土面』がある。その後も名作『巨木』(74年)他を発表し続け、76年ニムラ舞踊賞、83年舞踊芸術賞、99年江口隆哉賞受賞。また84年紫綬褒章、94年勲4等宝冠章を受章。2007年、東京都功労者表彰を受ける。米国、英国、中国、インド他で海外公演。著書に『芙二三枝子のダンスセラピー』『太陽風』がある。日本ダンスセラピー協会名誉会長、(一社)現代舞踊協会常務理事を経て相談役等を歴任した。18年3月逝去。



©関戸基敬

振付: 折田克子

Choreography by ORITA Katsuko

(1937年～2018年)

母である石井みどり(石井漠の高弟)に師事。父は作曲家、ヴァイオリニストの折田泉。1950年と55年、全国舞踊コンクール第一位文部大臣賞受賞。天才少女の名をほしいままにし、10代にして公演を開催。61年『体』(石井みどり)で芸術祭個人演技賞受賞。68年、現代舞踊家初の文化庁派遣芸術家在外研修員として渡米。帰国後は舞踊作家としても本格的な活動を開始、独創性溢れる作品の数々を国内外で発表し「東洋と西洋を融合する超自然的表現」と評される。97年新国立劇場オープニング記念公演で「梟の唄」を発表。87年江口隆哉賞、97年東京新聞舞踊芸術賞、ニムラ舞踊賞他多数受賞。2003年紫綬褒章、09年旭日小綬章受章。主な作品に『憶の市』『パラダイス・ロスト』『アリスの長い午後』『夏畑・エンドレスサマー』『杜の譜-カナリヤ抄』『隣の楽園』など。(一社)現代舞踊協会常務理事を務めた。18年10月逝去。



振付: アキコ・カンダ

Choreography by Akiko KANDA

(1935年～2011年)

7歳からダンスを始め、石井小浪に師事。1956年ニューヨークのマーサ・グラーム舞踊学校に入学、同舞踊団でソリストとして活躍。61年帰国。アキコ・カンダ ダンスカンパニーを主宰し、精力的に作品を発表。代表作に『バルバラを踊る』『マーサへ』『日本の調べ』など。なかでも80年発表の『バルバラを踊る』は、アキコのライフワークとも云われ、2006年には“100ステージ達成記念公演”を開催した。芸術祭大賞(74年)、芸術選奨文部大臣賞(88年)など多数受賞し、紫綬褒章(98年)、旭日小授章(07年)を受章。また、宝塚歌劇団の講師および振付を50年の長きにわたり担当、新国立劇場バレエ研修所コンテンツボラリー・クラス講師を務めるなど、後進の指導にも尽力した。11年9月、闘病中にも拘わらず、アキコ・カンダモダンダンス公演を開催。12日後に75歳で永眠する。



©篠山紀信

Ballet

公演一覧

開場記念公演～2021/2022 シーズン

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
開場記念公演	眠れる森の美女*	M.プティパ	K.セルゲエフ O.ヴィノグラードフ	P.チャイコフスキー	1997.10/24
	くるみ割り人形*	L.イワノフ	V.ワイノーネン G.コームレワ	P.チャイコフスキー	1997.12/18
	梵鐘の聲 ～平家物語より*	石井 潤		石井真木	1998. 2/01
1998/ 1999	白鳥の湖*	M.プティパ/L.イワノフ	K.セルゲエフ N.ドゥジンスカヤ	P.チャイコフスキー	1998. 5/26
	ジゼル*	J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ	K.セルゲエフ N.ドゥジンスカヤ	A.アダン	1998.10/28
	くるみ割り人形	L.イワノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	1998.12/09
	ドン・キホーテ*	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジュージェフ	L.ミンクス	1999. 3/18
	トリプル・ビル				
	レ・シルフィード*	M.フォーキン	M.パーク	F.ショパン	1999. 6/25
	踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ*	佐多達枝		W.A.モーツァルト	
	ペトルーシュカ*	M.フォーキン	J.オウドウ	I.ストラヴィンスキー	
1999/ 2000	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	1999.10/07
	シンデレラ*	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	1999.12/04
	トリプル・ビル				
	ラ・バヤデルより“影の王国”*	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス	2000. 2/04
	テーマとヴァリエーション*	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	
	ペトルーシュカ	M.フォーキン	J.オウドウ	I.ストラヴィンスキー	
	ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジュージェフ	L.ミンクス	2000. 3/25
	J-バレエ～ダンス・クレアシオン～				
	悲歌のシンフォニー～第3楽章*	金森 穰		H.グレッツキ	2000. 5/19
	十二夜*	石井 潤		G.マイネリオ ほか	
舞姫*	望月則彦		A.シュニトケ ほか		
ラ・シルフィード*	A.ブルノンヴィル	S.エングルンド/大原永子	H.ルーヴェンシュキョル	2000. 6/29	
テーマとヴァリエーション	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー		
2000/ 2001	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	2000. 9/05
	ラ・バヤデル*	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 Jランチベリ)	2000.11/17
	くるみ割り人形	L.イワノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	2000.12/22
	シンデレラ	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	2001. 2/23
	眠れる森の美女	M.プティパ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	2001. 4/26
	トリプル・ビル				
	テーマとヴァリエーション	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	2001. 6/22
	リラの園*	A.チューダー	D.マーラー	E.ショーン	
ライモンダ第3幕*	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラズノフ		

★＝新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2001/ 2002	ロメオとジュリエット*	K.マクミラン	J.リソコン	S.プロコフィエフ	2001.10/12
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2001.12/21
	白鳥の湖	M.ブティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	2002. 2/04
	ミックス・プログラム				
	レ・シルフィード	M.フォーキン	M.パーク	F.ショパン	2002. 3/16
	四つの最後の歌*	R.V.ダンツヒ		R.シュトラウス	
	ドゥエンテ*	N.ドゥアト	T.ファーブル/K.マッカーシー	C.ドビュッシー	
	シンフォニー・イン・C*	G.バランシン	P.ニアリー	G.ピゼー	
	リラの園	A.チューダー	D.マーラー	E.ショーン	
	ドン・キホーテ	M.ブティバ/A.ゴルスキー	A.ファジューチェフ	L.ミンクス	2002. 5/17
ジゼル	J.コラリ/J.ベロー/M.ブティバ	K.セルゲエフ	A.アダン	2002. 6/25	
2002/ 2003	こうもり*	R.ブティ		J.シュトラウスII世(編曲 D.ガムレイ)	2002. 9/22
	J-バレエ〜ダンス・クレアシオン〜				
	String(s) piece*	金森 穰		池田亮司	2002.11/15
	Nothing is Distinct*	中島伸放		管谷昌弘	
	FEELING IS EVERYWHERE*	島崎 徹		J.S.バッハ ほか	
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	2002.12/21
	ラ・バヤデル	M.ブティバ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー)	2003. 2/21
	白鳥の湖	M.ブティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	2003. 5/16
	ラ・シルフィード	A.ブルノンヴィル	S.エンゲルンド/大原永子	H.ルーヴェンシュキョル	2003. 6/27
バキータ*	M.ブティバ	M.ヴァジーエフ/L.クナコーワ	L.ミンクス		
2003/ 2004	THE CHIC				
	シンフォニー・イン・C	G.バランシン		G.ピゼー	2003.10/03
	ジゼル/こうもり/ラ・バヤデル/ロメオとジュリエットよりパ・ド・ドゥ				
	ジャルディ・タンカート*	N.ドゥアト		M.D.M.ボネ	
	マノン*	K.マクミラン	P.ルアンヌ/M.パーカー	J.マスネ(編曲 L.ルーカス)	2003.10/29
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2003.12/12
	こうもり	R.ブティ	J.P.アルノー	J.シュトラウスII世(編曲D.ガムレイ)	2003.12/21
	ロメオとジュリエット	K.マクミラン	J.リソコン	S.プロコフィエフ	2004. 4/16
眠れる森の美女	M.ブティバ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	2004. 6/04	
2004/ 2005	ライモンダ*	M.ブティバ	牧 阿佐美	A.グラズノフ	2004.10/15
	くるみ割り人形	M.ブティバ/L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	2004.12/17
	白鳥の湖	M.ブティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	2005. 1/07
	エメラルド・プロジェクト No.1 カルメン*	石井 潤		G.ピゼー(編曲 R.バーカー)	2005. 3/25
	眠れる森の美女	M.ブティバ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	2005. 4/29
	ドン・キホーテ	M.ブティバ/A.ゴルスキー	A.ファジューチェフ	L.ミンクス	2005. 6/25

★=新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2005/ 2006	カルミナ・ブラーナ*	D.ピントレー		C.オルフ	2005.10/29
	ライモンダ ～第1幕より夢の場	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラズノフ	
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	2005.12/16
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	2006. 1/7
	ナチョ・ドゥアトの世界				2006. 3/23
	ドゥエンデ	N.ドゥアト		C.ドビュッシー	
	ジャルディ・タンカート		M.D.M.ボネ		
	ポール・ヴォス・ムエロ*		15～16世紀スペインの古楽		
こもり	R.プティ	L.ボニーノ	J.シュトラウスⅡ世(編曲 D.ガムレイ)	2006. 5/19	
ジゼル	J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ	K.セルゲエフ	A.アダン	2006. 6/24	
2006/ 2007	ライモンダ	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラズノフ	2006.10/5
	白鳥の湖*	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美 (K.セルゲエフ版による)	P.チャイコフスキー	2006.11/12
	シンデレラ	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	2006.12/15
	眠れる森の美女	M.プティパ	K.セルゲエフ O.ヴィングラードフ	P.チャイコフスキー	2007. 2/01
	エメラルド・プロジェクト No.2 オルフェオとエウリディーチェ*	D.ウオルシュ		C.W.グルック (編曲 D.ガルフォース)	2007. 3/21
	コッペリア*	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ	2007. 5/13
	ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2007. 6/28
2007/ 2008	オペラ・バレエ ガラ公演				2007.10/01
	セレナーデ*	G.バランシン		P.チャイコフスキー	
	椿姫*	牧 阿佐美		H.ベルリオーズ	2007.11/04
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	2007.12/19
	ニューイヤー オペラパレスガラ				2008. 1/5
	アンド・ワルツ*	牧 阿佐美		M.ラヴェル	
	「こもり」から「グラン・カフェ」	R.プティ		J.シュトラウスⅡ世	
	カルメン	石井 潤		G.ビゼー(編曲 R.バーカー)	2008. 3/27
	ラ・バヤデール	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチベリ)	2008. 5/18
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2008. 6/24
2008/ 2009	アラジン*	D.ピントレー		C.デイヴィス	2008.11/15
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2008.12/20
	ライモンダ	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラズノフ	2009. 2/10
	Ballet the Chic —バランシン/サーブ/ドゥアト—				2009. 3/26
	セレナーデ	G.バランシン			
	ポール・ヴォス・ムエロ	N.ドゥアト	K.マッカーシー		
	ブッシュ・カムズ・トゥ・ショヴ*	T.サーブ	E.クドー		
	空間の鳥*	井口裕之			
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2009. 5/19
コッペリア	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ	2009. 6/26	

★＝新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2009/ 2010	ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2009. 10/12
	くるみ割り人形*	L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2009. 12/20
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2010. 1/17
	アンナ・カレーニナ*	B.エイフマン		P.チャイコフスキー等	2010. 3/21
	カルミナ・ブラーナ				2010. 5/01
	カルミナ・ブラーナ ガラントウリーズ*	D.ピントレー		C.オルフ W.A.モーツァルト	
	椿姫	牧 阿佐美		H.ベルリオーズ	2010. 6/29
2010/ 2011	ペンギン・カフェ				2010. 10/27
	ペンギン・カフェ*	D.ピントレー		S.ジェフス	
	シンフォニー・イン・C	G.バランシン	C.ニアリー	G.ビゼー	
	火の鳥*	M.フォーキン	D.ボナー	I.ストラヴィンスキー	
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2010. 11/27
	ラ・バヤデル	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチェベリー)	2011. 1/15
	ダイナミック ダンス! (公演中止)				—
	コンチェルト・パロッコ*	G.バランシン	P.ニアリー	J. S.バッハ	
	テイク・ファイヴ*	D.ピントレー		D.ブルーベック/P.デズモンド	
	イン・ジ・アッパー・ルーム*	T.サーブ	E.クドー	P.グラス	
アラジン	D.ピントレー		C.デイヴィス	2011. 5/02	
ロメオとジュリエット	K.マクミラン	D.ケリー	S.プロコフィエフ	2011. 6/25	
2011/ 2012	バレエ・オープニング・ガラ				2011. 10/01
	「アラジン」から “序曲”砂漠への旅“財宝の洞窟”	D.ピントレー		C. デイヴィス	
	パド・ドゥ集:眠れる森の美女第3幕より シンフォニー・イン・C 第4楽章	グラン・パド・ドゥ/ロメオとジュリエット G.バランシン	バルコニー・シーン/ドン・キホーテ第3幕より	G.ビゼー	
	バゴダの王子*	D.ピントレー		B.ブリテン	2011. 10/30
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2011. 12/17
	こうもり	R.プティ	L.ボニーノ	J.シュトラウスII世(編曲D.ガムレイ)	2012. 2/04
	アンナ・カレーニナ	B.エイフマン		P.チャイコフスキー ほか	2012. 3/16
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2012. 5/05
	マノン	K.マクミラン	P.ルアンヌ/K.パーネット	J.マスネ(編曲 M.イエーツ)	2012. 6/23
	2012/ 2013	シルヴィア*	D.ピントレー		L.ドリーブ
シンデレラ		F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	2012. 12/15
ダイナミック ダンス!					2013. 1/24
コンチェルト・パロッコ*		G.バランシン	D.フーヴァー	J.S.バッハ	
テイク・ファイヴ*		D.ピントレー		D.ブルーベック/P.デズモンド	
イン・ジ・アッパー・ルーム*		T.サーブ	E.クドー	P.グラス	
ジゼル		J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ	K.セルゲーエフ	A.アダン	2013. 2/17
ペンギン・カフェ 2013					2013. 4/28
シンフォニー・イン・C		G.バランシン	P.ポーズ	G.ビゼー	
E=mc ² *		D.ピントレー		M.ハインドソン	
ペンギン・カフェ	D.ピントレー		S.ジェフス		
ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2013. 6/22	

★=新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2013/ 2014	バレエ・リュス ストラヴィンスキー・イブニング			I.ストラヴィンスキー	2013.11/13
	火の鳥	M.フォーキン	D.ボナー		
	アポロ* 結婚*	G.バランシン B.ニジンスカ	B.ヒューズ C.ニュートン/C.サンダース		
	くるみ割り人形	L.イワノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2013.12/17
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2014. 2/15
	シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント				2014. 3/18
	暗やみから解き放たれて*	J.ラング		O.アルナルズ/N.フラーム J.クレイマー/J.メトカーフ	
	大フーガ*	H.V.マーネン	M.ヴェネーマ	L.v.ベートーヴェン	
	シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント*	G.バランシン	B.ヒューズ	I.ストラヴィンスキー	
	ファスター／カルミナ・ブラーナ	D.ピントレー			2014. 4/19
ファスター*			M.ハインドソン		
カルミナ・ブラーナ			C.オルフ		
バゴダの王子	D.ピントレー		B.プリテン	2014. 6/12	
2014/ 2015	眠れる森の美女*	M.プティパ/W.イーグリグ		P.チャイコフスキー	2014.11/8
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2014.12/14
	ラ・パヤデール	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー)	2015. 2/17
	トリプル・ビル				2015. 3/14
	テーマとヴァリエーション	G.バランシン	B.ヒューズ	P.チャイコフスキー	
	ドゥエンデ	N.ドゥアト	K.マッカーシー	C.ドピュッシー	
	トロイ・ゲーム*	R.ノース	J.モス	B.ダウズ ほか	
	こうもり	R.プティ	L.ボニーノ	J.シュトラウスⅡ世(編曲 D.ガムレイ)	2015. 4/21
白鳥の湖	M.プティパ/L.イワノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2015. 6/10	
2015/ 2016	ホフマン物語*	P.ダレル	K.バーク	J.オッフェンバック	2015. 10/30
	くるみ割り人形	L.イワノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2015. 12/19
	ニューイヤール・バレエ				2016. 1/9
	セレナーデ	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	
	フォリア	貝川鐵夫		A.コレツリ	
	「パリの炎」パ・ド・ドウ	V.ワイノーネン		B.アサフィエフ	
	「海賊」パ・ド・ドウ	M.プティパ		R.ドリーゴ	
	タランテラ 「ライモンダ」より第3幕	G.バランシン M.プティパ	P.ニアリー 牧 阿佐美	L.M.ゴットシャルク A.グラズノフ	
	ラ・シルフィード／Men Y Men				2016. 2/6
	ラ・シルフィード Men Y Men*	A.ブルノンヴィル W.イーグリグ	大原永子	H.ルーヴェンシュキョル S.ラフマニノフ(編曲 G.サザーランド)	
ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2016. 5/3	
アラジン	D.ピントレー		C.デイヴィス	2016. 6/11	
2016/ 2017	ロメオとジュリエット	K.マクミラン	P.ルアンヌ/K.バーネット	S.プロコフィエフ	2016. 10/29
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2016. 12/17
	ヴァレンタイン・バレエ				2017. 2/17
	テーマとヴァリエーション	G.バランシン	B.ヒューズ	P.チャイコフスキー	
	「ドン・キホーテ」グランパ・ド・ドウ	M.プティパ/A.ゴルスキー		L.ミンクス	
	「白鳥の湖」第3幕より黒鳥のパ・ド・ドウ	M.プティパ		P.チャイコフスキー	
	ソワレ・ド・バレエ*	深川秀夫		A.グラズノフ	
	タランテラ	G.バランシン		L.M.ゴットシャルク	
	トロイ・ゲーム	R.ノース	J.モス	B.ダウズ ほか	
	コッペリア	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ	2017. 2/24
眠れる森の美女	M.プティパ/W.イーグリグ		P.チャイコフスキー	2017. 5/5	
ジゼル	J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ	K.セルゲーエフ	A.アダン	2017. 6/24	

★＝新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2017/ 2018	くるみ割り人形*	W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2017. 10/28
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2017. 12/16
	ニューイヤー・バレエ				
	パ・ド・カトル	J.ペロー	アントン・ドーリン	C.ブーニ	2018. 1/6
	グラン・パ・クラシック*	V.グゾフスキー		F.オーベール	
	チャイコフスキー・パ・ド・ドゥ*	G.バランシン		P.チャイコフスキー	
	シンフォニー・イン・C	G.バランシン		G.ビゼー	
	ホフマン物語	P.ダレル		J.オッフエンバック	2018. 2/9
	白鳥の湖	M.プティパ/レイワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2018. 4/30
眠れる森の美女	M.プティパ/W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2018. 6/9	
2018/ 2019	不思議の国のアリス*	C.ウィールドン	J.バレット/J.ファウラー	J.タルボット	2018. 11/2
	くるみ割り人形	W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2018. 12/16
	ニューイヤー・バレエ				
	レ・シルフィード	M.フォーキン		F.ショパン	2019. 1/12
	火の鳥*	中村恩恵		I.ストラヴィンスキー	
	ペトルーシュカ	M.フォーキン	D.ボナー	I.ストラヴィンスキー	
	ラ・バヤデル	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチェベリー)	2019. 3/02
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2019. 4/27
	アラジン	D.ビントレー		C.ディヴィス	2019. 6/15
2019/ 2020	ロメオとジュリエット	K.マクミラン	P.ルアンヌ/K.バーネット	S.プロコフィエフ	2019. 10/19
	くるみ割り人形	W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2019. 12/14
	ニューイヤー・バレエ				
	セレナーデ	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	2020. 1/11
	『ライモンダ』よりパ・ド・ドゥ	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	
	『海賊』よりパ・ド・ドゥ	M.プティパ		R.ドリーゴ	
	DGV Danse à Grande Vitesse ©*	C.ウィールドン	J.ファウラー	M.ナイマン	
	マノン	K.マクミラン	P.ルアンヌ/K.バーネット	J.マスネ(編曲 M.イエーツ)	2020. 2/22
	ドン・キホーテ(公演中止)	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	
不思議の国のアリス(公演中止)	C.ウィールドン		J.タルボット		
2020/ 2021	ドン・キホーテ *1	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2020. 10/23
	くるみ割り人形	W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2020. 12/12
	ニューイヤー・バレエ(公演中止) *2				
	バキータ	M.プティパ		L.ミンクス	
	Contact	木下嘉人		O.アルナルズ	
	ソワレ・ド・バレエ	深川秀夫		A.グラスノフ	
	カンパネラ	貝川鐵夫		F.リスト	
	ペンギン・カフェ	D.ビントレー		S.ジェフス	
	眠れる森の美女 *3	M.プティパ/W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2021. 2/20
コッペリア(公演中止) *4	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ		
ライモンダ	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	2021. 6/5	

★=新制作

*1 当初予定していた『白鳥の湖』(新制作)より演目変更

*2 当初予定していた『デュオ・コンチェルト』に変わって、『Contact』『ソワレ・ド・バレエ』『カンパネラ』に演目変更
2021年1月11日に無観客でライブ配信を実施

*3 当初予定していた「吉田都セレクション -ファイヴ・タンゴ/A Million Kisses to my Skin/テーマとヴァリエーション」より演目変更

*4 2021年5月2~8日に計4回無観客でライブ配信を実施

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2021/ 2022	白鳥の湖*	M.プティパ/Lイワーノフ/P.ライト	G.サムソフ	P.チャイコフスキー	2021. 10/23
	くるみ割り人形	W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2021. 12/18
	ニューイヤー・バレエ				2022. 1/14
	テーマとヴァリエーション	G.バランシン		P.チャイコフスキー	
	ペンギン・カフェ *1	D.ピントレー		S.ジェフス	
	吉田都セレクション(公演中止) *2				
	『Coppélia Spiritoso』	木村優里		カール・ジェンキンス、レオ・ドリーブ	
	『人魚姫』	木下嘉人		マイケル・ジアッチーノ	
	『Passacaglia』	木下嘉人		ハインリヒ・ビーバー	
	『アラジン』より 「序曲」「砂漠への旅」「財宝の洞窟」	D.ピントレー		C.デイヴィス	
	『こうもり』より「グラン・カフェ」	R.プティ		J.シュトラウスⅡ世(編曲 D.ガムレイ)	
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2022. 4/30
不思議の国のアリス	C.ウィールドン		J.タルボット	2022. 6/3	

★＝新制作

*1 当初予定していた『夏の夜の夢』(新制作)より演目変更

*2 当初予定していた『精確さによる目眩くスリル』『ファイヴ・タンゴ』に変わって、NBJ Choreographic Group 作品『Coppélia Spiritoso』『人魚姫』『Passacaglia』、『アラジン』より「序曲」「砂漠への旅」「財宝の洞窟」に演目変更

〈中学生のためのバレエ〉

年度	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
平成 20 年度	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2008. 6/26
平成 21 年度	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2009. 5/20
平成 22 年度	椿姫	牧 阿佐美		H.ベルリオーズ(編曲:E.フローリオ)	2010. 6/30

〈こどものためのバレエ劇場〉

年度	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
平成 21 年度	しらゆき姫	小倉佐知子	三輪えり花 (構成・演出)	J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄)	2009. 4/04
平成 22 年度	しらゆき姫	小倉佐知子	三輪えり花 (構成・演出)	J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄)	2010. 7/23
平成 24 年度	シンデレラ	小倉佐知子		S.プロコフィエフ	2012. 7/27
平成 26 年度	しらゆき姫	小倉佐知子	三輪えり花 (構成・演出)	J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄)	2014. 7/25
平成 27 年度	シンデレラ	小倉佐知子		S.プロコフィエフ	2015. 7/22
平成 28 年度	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	大原永子 (構成・演出)	P.チャイコフスキー	2016. 7/21
平成 29 年度	しらゆき姫	小倉佐知子	三輪えり花 (構成・演出)	J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄)	2017. 7/27
平成 30 年度	シンデレラ	小倉佐知子		S.プロコフィエフ	2015. 7/22
令和 元年度	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	大原永子 (構成・演出)	P.チャイコフスキー	2019. 7/27
令和 2 年度	竜宮 りゅうぐう*	森山開次		松本淳一	2020. 7/24
令和 3 年度	竜宮 りゅうぐう	森山開次		松本淳一	2021. 7/24

★=新制作

〈エデュケーション・プログラム〉

年度	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
令和 3 年度	ようこそ『シンデレラ』のお城へ!	F.アシュトン	吉田都	S.プロコフィエフ	2022. 2/26

〈地域招聘公演〉

年度	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
平成 20 年度	アンナ・カレーニナ (法村友井バレエ団)	A.プロコフスキー		P.チャイコフスキー(編曲:G.ウールフェンデン)	2009. 1/11
平成 22 年度	角兵衛獅子 (新潟シティバレエ)	橘秋子	渡辺珠実 (ステージング)	山内正	2010.12/19
平成 24 年度	(貞松・浜田バレエ団)				
	A プログラム くるみ割り人形	M.プティパ/L.イワーノフ	貞松融/浜田蓉子	P.チャイコフスキー	2013. 1/12
平成 24 年度	B プログラム 6DANCES Memoryhouse DANCE	I.キリアン 森優貴 O.ナハリン		W.A.モーツァルト M.リヒター/A.バラネスク/P.ヴァスクス L.アルメイダ 他	2013. 1/14
	Color of Dance (樋笠バレエ団)				
平成 26 年度	バッハ・ア・ラ・トゥルカ ビトウイーン・トゥー ムハマドフ 黒と白 彩の彼方	メメット・パルカン		J.バッハ、バッハ・アレンジメント E.アルダル W.A.モーツァルト E.アルダル E.アルダル	2015. 1/11

Dance

公演一覧

開場記念公演～2021/2022 シーズン

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日	
開場記念公演	パノラマ展 A プログラム		1997.11/21	
	ラブソディ リジェネレーション リゴドン ～死の舞踏	石井かほる 能美健志 庄司 裕		
	マスターワークス		1997.12/06	
	梟の唄 世界はバツハのように	折田克子 西田 堯		
	パノラマ展 B プログラム		1998. 1/07	
	春の祭典 カウンターバランス ～現実をみるための空想～ 風市	竹内登志子 米井澄江 藤井 公		
1998/ 1999	ダンスプラネット No.1 コムヘリタキナ	木佐貫邦子	1998. 4/24	
	ダンスプラネット No.2 ありす	中村しんじ	1998. 9/25	
	ダンステアトロン No.1 凡人 対 美黄		1998.11/28	
	ゆるやかなさかみち 礼儀正しい隠蔽	厚木凡人 若松美黄		
	ダンステアトロン No.2 FAUST	平林和子	1999. 2/26	
	ダンスプラネット No.3 エロスの部屋 ～黒い乳母車～	泉 克芳	1999. 4/23	
1999/ 2000	ダンスプラネット No.4 現実との3分間/非現実との3分間 ～ピアソラへのオマージュ～	能美健志	1999. 9/24	
	ダンステアトロン No.3 神曲	西田 堯	1999.11/27	
	ダンスプラネット No.5 ダンスコンサート 舞姫たちの午後			
	Aプログラム Sequence of tenses 死と乙女 城壁の空高く、のぼる太陽・しずむ月 Hommage 墜ちたる天女	田保和里 軽部裕美 武元賀寿子 菊地純子 本間祥公	振付 二見一幸 振付 能美健志 演奏 斎藤 徹/井野信義 演奏 森田浩平 演奏 杉浦 聡	2000. 3/10
	Bプログラム ff-fortissimo あいだ カッサンドラダンス あなたの肩に頬寄せて 雲の上に草をうる人 権兵衛が種をまけば…	内田 香 北井千都代 地主律子 児玉敏子 川野真子 金井美三枝	演奏 馬場高望 振付 中村しんじ 演奏 香川隆樹/持丸 明/原 光弘	2000. 3/12
	ダンスプラネット No.6 キングリア	上田 遥	音楽・演奏 東儀秀樹/王 霄峰	2000. 6/9
2000/ 2001	ダンスプラネット No.7 ピノッキオ	中村しんじ	2000. 9/22	
	ダンステアトロン No.4 Raj Packet -everything but Ravi	勅使川原三郎	音楽・演奏 SAND	2000.12/16
	ダンステアトロン No.5 Close the door,open your mouth HYPER BALLAD	伊藤キム 山崎広太	音楽監督・演奏 伊藤康英	2001. 3/10
	ダンスプラネット No.8 エヴァのひみつ	石井かほる		2001. 6/15

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2001/ 2002	ダンスプラネット No.9 Signs:Landmark	モリサ・フェンレイ ピアノ演奏 高橋アキ	2001. 9/28
	Metamorphosis	菊地純子	
	ダンステアトロン No.6 森羅	野坂公夫	2001.12/1
	空間の詩学	正田千鶴	
	ダンスプラネット No.10 伊藤キム作品集 Me and I / Butterfly and Me / あなた	伊藤キム	2002. 2/15
	ダンステアトロン No.7 マーサへ ～空のなか 愛がふれあうとき～	アキコ・カンダ	2002. 6/15
2002/ 2003	ダンスプラネット No.11 未来の空隙は響き	構成・演出・美術 小池博史	2002. 9/20
	ダンステアトロン No.8 Raj Packet II	構成・振付・美術・衣裳・照明 勅使川原三郎 音楽・演奏 SAND	2002.12/14
	ダンスプラネット No.12 DANCE EXHIBITION 2003		
	Aプログラム DOROBO 泥棒 一再生の産声ー the edge Figninto 穿たれた眼	石川ふくろう 永谷亜紀 カンパニー・サリア・ニ・セイドウ 振付 セイドウ・ポロ	2003. 3/14
	Bプログラム Against Newton ～ニュートンに逆らって 4×4 Figninto 穿たれた眼	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 水と油 カンパニー・サリア・ニ・セイドウ 振付 セイドウ・ポロ	2003. 3/16
	ダンステアトロン No.9 EXPECT 東京ダンスホール	木佐貫邦子 中村しんじ	2003. 6/21
2003/ 2004	ダンスプラネット No.13 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後		
	Giselle Espresso 弱法師 ロメオとジュリエット I & II シャコンヌ MAGUMA	軽部裕美 & 島地保武 内田香 & 古賀豊 加賀谷香 & 森山開次 イ・ユンキョン & リュ・ソクン 平山素子 & 能美健志 蘭このみ & 清水典人 特別出演 津村禮次郎	2003. 9/12
	ダンステアトロン No.10 バレエ・プレルジョカージュ ヘリコプター／春の祭典	アンジュラン・プレルジョカージュ	2003.11/7
	ダンスプラネット No.14 Against Newton II 騒ぐにはもってこいの日	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 武元賀寿子 音楽・演奏 こまっちゃクレズマ／太田恵資	2004. 2/13
	ダンステアトロン No.11 Close the door, open your mouth 花の歴史	伊藤キム 伊藤キム 音楽監督・演奏 伊藤康英	2004. 5/15
	ダンスプラネット No.15 DANCE EXHIBITION 2004		
2004/ 2005	Aプログラム Divining 月に歌うクジラ 冷めないうちに召し上がれ	リー・ウォーレン&ダンスーズ 川野眞子 内田 香 Roussewaltz ピアノ演奏 サイモン・テデスキ 総合演出 中村しんじ	2004. 9/15
	Bプログラム LOTUS 一花の咲く時季 OKINA Swerve	浅野つかさ 森山開次 リー・ウォーレン&ダンスーズ 特別出演 津村禮次郎 打楽器演奏 バプロ・パーカッソー	2004. 9/17
	ダンステアトロン No.12 KAZAHANA 風花	勅使川原三郎	2005. 2/04
	ダンスプラネット No.16 移動の法則	水と油	2005. 2/18
	ダンスプラネット No.17 田中 泯 独舞・赤光	田中 泯 音楽・演奏 大倉正之助／一噌幸弘	2005. 6/03

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2005/ 2006	ダンスプラネット No.18 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後		
	ダリのリアリズムの薔薇 あやかし Where is my moon? 光芒 ～長き尾を引き流れ星は～ Butterfly noon afternoon	矢作聡子 & 藤田恭子 & 関根えりか & 山中ひさの 花柳せいら & 伊藤拓次 バク・ユースン & キム・ソンヨン 蘭このみ & 清水典人 平山素子 & 中川 賢 マイケル・シューマツハ & アレッシオ・シルベストリン	2005. 9/16
	ダンスプラネット No.19 コロボレートする身体 いぶき～奇蹟の大地 法悦	森山開次 & 宮崎秀人 能美健志 & 高田みどり 打楽器演奏 高田みどり	2005.11/25
	ダンスシアタロン No.13 パレエ・プレルジョカージュ		
	A プログラム N	アンジュラン・プレルジョカージュ	2006. 1/31
	B プログラム Les 4 saisons…(四季)	アンジュラン・プレルジョカージュ	2006. 2/04
	ダンスプラネット No.20 きらめく背骨	前田清実 音楽・演奏 金子飛鳥	2006. 6/16
2006/ 2007	ダンスプラネット No.21 DANCE EXHIBITION 2006		
	A プログラム 【c-e】 消失にむかう地点の青 Crush さーかす	佐藤美紀 共同演出 鈴木千穂 / 平多利江 キム・バンソン 川野真子 演出 中村しんじ	2006. 9/15
	B プログラム QWERTY 人形 Chopiniana ケース Butterfly no-side	石山雄三 湊斐美子 中野真紀子 新上裕也 平山素子 & 中川 賢 ゲー・リャンリャン & 高頂	2006. 9/18
	ダンスシアタロン No.14 ガラスノ牙	勅使川原三郎	2006.12/15
	ダンスシアタロン No.15 如風～inside of wind	野坂公夫 / 武元賀寿子 / 内田 香 演出・音楽・演奏 大倉正之助 音楽・演奏 ロバート・ミラバル	2007. 2/10
	ダンスプラネット No.22 Life Casting 一型取られる生命一	平山素子	2007. 6/01
	ダンスプラネット No.23 消息 Substance	勅使川原三郎	2007. 9/29
ダンスプラネット No.24 勅使川原三郎ソロ ミロク	勅使川原三郎	2007.12/08	
ダンスプラネット No.25 ダンス名作展 -10年を振り返って未来への展望-			
Against Newton シャコンヌ Espresso さーかす	岩淵多喜子 平山素子 & 能美健志 内田 香 & 古賀 豊 ヴァイオリン演奏 末永千湖 川野真子 演出 中村しんじ	2008. 1/18	
ダンスプラネット No.26 未来へ繋ぐトリプル・ビル			
受胎告知 Butterfly 曲線(カーブ)した声	アンジュラン・プレルジョカージュ 平山素子 & 中川 賢 野坂公夫 / 坂本信子	2008. 2/15	
ダンスプラネット No.27 空気のダンス -デッサンから飛び立った少年少女-	勅使川原三郎	2008. 4/04	

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2008/ 2009	ダンスプラネット No.21 DANCE EXHIBITION 2008 —Dance meets Music—		
	A プログラム Accumulated Layout (蓄積された配置) “形が”“人が”語り始めると カッコウ	梅田宏明 二見一幸 / ダンスカンパニーカレイドスコープ Co. 山田うん ピアノ演奏 クリヤ・マコト	2008. 9/06
	B プログラム REM —The Black Cat パレードの馬 Flush (ほとばしる) ~生き急ぐ時間たち~	川口ゆい 加賀谷香 上島雪夫 / UESHIMA theater 音楽・ヴァイオリン演奏 太田恵資	2008. 9/13
	ダンスシアタロン No.16 古楽とストラヴィンスキー 木佐貫邦子 × 平山素子		2008.11/15
	キャラバン 春の祭典	木佐貫邦子 平山素子 / 柳本雅寛 音楽 スカンク ピアノ演奏 土田英介 / 篠田昌伸	
	ダンスプラネット No.29 森山開次作品集		2009. 2/09
	OKINA 弱法師 花想観 狂ひそうろうふ(くるいそうろう)	森山開次 / 津村禮次郎 森山開次 / 加賀谷 香 / 津村禮次郎 森山開次 音楽 種子田郷 音楽 笠松泰洋 フルート演奏 木之脇道元 音楽・パーカッション YAS-KAZ	
金森 穰 Noism09 ZONE ~陽炎 稲妻 水の月	金森 穰 出演 Noism09	2009. 6/17	
2009/ 2010	ダンスシアタロン No.17 勅使川原三郎 鏡と音楽	勅使川原三郎	2009. 9/25
	ダンスプラネット No.31 平山素子 Life Casting 一型取られる生命一	平山素子 音楽 落合敏行	2009.11/05
	ダンスプラネット No.32 近藤良平 トリプルビル	近藤良平	2010. 2/05
	ダンスシアタロン No.18 DANCE to the Future	出演 新国立劇場バレエ団	2010. 5/29
	Wolfgang for Webb THE LAST ERA OF CINDERELLA Snow Lotus 一雪蓮華	ドミニク・ウォルシュ 能美健志 井口裕之	
2010/ 2011	ダンスプラネット No.33 DANCE PLATFORM 2010		
	A プログラム 果てに… SINSHOKU Improvisation.705117902 Autumn Hunch	原田みのる 池田美佳 菊地尚子 高瀬譜希子	2010.10/22
	B プログラム FAUNE (2008) レトルト 一その中の愛と闘争 belle-île イキキル	大岩淑子 山口華子 松崎えり C/Ompany (大植真太郎・柳本雅寛・平原慎太郎)	2010.10/29
	ダンスシアタロン No.19 ストラヴィンスキー・イブニング	平山素子 音楽 イーゴリ・ストラヴィンスキー	2010.12/04
	兵士の物語 春の祭典	演奏 崔 文洙 (vl.) 松本健司 (cl.) 土田英介 (pf) 共同振付 柳本雅寛 ピアノ演奏 土田英介 / 篠田昌伸	
	ダンスプラネット No.34 イデビアン・クルー アレルギー	井手茂太 出演 イデビアン・クルー	2011. 3/09
	ダンスシアタロン No.20 DANCE to the Future 2011	出演 新国立劇場バレエ団	2011. 5/28
	Almond Blossoms QWERTY ナット・キング・コール組曲	キミホ・ハルバート 石山雄三 上島雪夫	

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2011/ 2012	Shakespeare THE SONNETS	中村恩恵／首藤康之 音楽 D.P.ハウブリッヒ	2011. 9/30
	近松 DANCE 式題		
	Aプログラム 女殺油地獄	鍵田真由美／佐藤浩希 アルテ イソラ 音楽 J.ガルベス	2011. 11/17
	Bプログラム エゴイズム	加賀谷香 Dance-SHAN 音楽 笠松泰洋	2011. 11/25
	カラマーゾフの兄弟	小野寺修二 カンパニーデラシネラ	2012. 2/8
	DANCE to the Future 2012 Ag+G Butterfly 兵士の物語	平山素子 出演 新国立劇場バレエ団 音楽 笠松泰洋、落合敏行 共同振付 中川 賢 音楽 M.ナイマン、落合敏行 音楽 I.ストラヴィンスキー 演奏 竹中真人(vl.) 杉本健司(cl.) 土田英介(pf)	2012. 4/21
2012/ 2013	森山開次「曼荼羅の宇宙」	森山開次 音楽・演奏 高木正勝	2012. 10/17
	DANCE PLATFORM 2012		
	Aプログラム ユニット・キミホ「Beauties and Beasts」	キミホ・ハルバート ユニット・キミホ	2012. 11/17
	Bプログラム 高谷史郎(ダムタイプ)「明るい部屋」	高谷史郎	2012. 12/7
	DANCE to the Future 2013 solo for 2 The Well-Tempered / Who is "Us" ? / O Solitude	出演 新国立劇場バレエ団 金森 穰 演奏 渡辺玲子(vl.) 中村恩恵	2013. 3/26
	フランス印象派ダンス「Trip Triptych」	平山素子 音楽 C.ドビュッシー／M.ラヴェル／E.サティ	2013. 6/7
2013/ 2014	中村恩恵×首藤康之	中村恩恵／首藤康之 音楽 D.P. ハウブリッヒ	
	Aプログラム 小さな家 UNE PETITE MAISON		2013. 10/4
	Bプログラム Shakespeare THE SONNETS		2013. 10/9
	DANCE to the Future ～Second Steps～	監修 デヴィッド・ビントレー 振付・出演 新国立劇場バレエ団	2013. 12/7
	小野寺修二 カンパニーデラシネラ ある女の家	小野寺修二	2014. 1/23
	ダンス・アーカイヴ in JAPAN —未来への扉— a Door to the Future		2014. 6/6
	第一部「日本の太鼓」 第二部 小品集 ピチカット 母 タンゴ 三題 BANBAN 食欲をそそる 白い手袋 第三部「春の祭典」	江口隆哉 音楽 伊福部 昭 伊藤道郎 演奏 杉山麻衣子(vi.) 阿部篤志(pf) 高田せい子 今川裕代(pf) 伊藤道郎 小森 敏 宮 操子 阿部篤志(pf) 檜 健次 今川裕代(pf) 石井 漢 加藤訓子(Perc.) 石井 漢 加藤訓子(Perc.) 平山素子／柳本雅寛 ピアノ演奏 土田英介／篠田昌伸	
2014/ 2015	JAPON dance project TOKYO 2014 CLOUD /CROWD	遠藤康行／小池ミモザ／青木尚哉／柳本雅寛／児玉北斗	2014. 8/30
	新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future ～Third Steps～ NBJ Choreographic Group	アドヴァイザー 平山素子(招待作品振付) マイルン・トレウバエフ／貝川鐵夫／福田圭吾／小口邦明 宝満直也／高橋一輝／広瀬 碧	2015. 1/16
	ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2015		2015. 3/07
	第一部 小品集 機械は生きている マスク 恐怖の踊り 釣り人 スカラ座のまり使い 第二部 体(たい)	石井 漢 演奏 加藤訓子(Perc.) 石井 漢 執行正俊 檜 健次 演奏 河内春香(pf) 江口隆哉 演奏 河内春香(pf) 石井みどり	
	森山開次「サーカス」	演出・振付・アートディレクション 森山開次 音楽 川瀬浩介 出演 森山開次 ほか	2015. 6/20

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2015/ 2016	近松 DANCE 武題		
	A プログラム 「エゴイズム」	加賀谷 香 Dance-SHAN 音楽 笠松泰洋	2015. 10/09
	B プログラム 「近松の女」 梅川 近松リポーターズ 五障 Goshō(おさんと小春より)	吾妻徳穂(日本舞踊)／酒井はな(バレエ)／蘭このみ(フラメンコ) 音楽・演奏 染谷ひろし／稲津清一(ギター)／手塚 環(カンテ[歌]) 蘭 このみ 島地保武 音楽 古川展生(チェロ) 吾妻徳穂 作曲・笛演奏 藤舎推峰／琴・胡弓演奏 日吉章吾	2015.10/16
	新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2016		
	NBJ Choreographic Group 作品 暗やみから解き放たれて	米沢 唯／貝川鐵夫／福田圭吾／小口邦明／宝満直也／高橋一輝／原田有希 ジェシカ・ラング 音楽 O.アルナルズ／N.フラーム／J.クレイマー／J.メトカーフ	2016. 3/12
	平山素子「Hybrid -Rhythm & Dance」	平山素子 音楽 オレカ TX (Perc.) / 床 絵美 (唄)	2016. 3/25
高谷史郎(ダムタイプ)「CHROMA(クロマ)」	高谷史郎 音楽 サイモン・フィッシャー・ターナー／南 琢也／原 摩利彦	2016. 5/21	
2016/ 2017	JAPON dance project 2016 Move / Still	遠藤康行／小池ミモザ／青木尚哉／柳本雅寛／児玉北斗	2016. 8/27
	新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2016 Autumn	アドヴァイザー 中村恩恵 出演 新国立劇場バレエ団	
	NBJ Choreographic Group 作品 生演奏による Improvisation 即興	貝川鐵夫／木下嘉人／福田紘也／宝満直也 演奏 中川俊郎(pf.)／木ノ脇 道元(fl.) (18日) 音楽監督・演奏 笠松泰洋 スガダイロー(pf.)／室屋光一郎(vl.) (19日) 林 正樹(pf.)／佐藤芳明(acc.) (20日)	2016. 11/18
	中村恩恵×新国立劇場バレエ団 「ベートーヴェン・ソナタ」	中村恩恵 音楽 L.v.ベートーヴェン 出演 首藤康之／新国立劇場バレエ団	2017. 3/18
	小野寺修二 カンパニーデラシネラ 「ふしぎの国のアリス」	構成・振付 小野寺修二 出演 カンパニーデラシネラ	2017. 6/03
2017/ 2018	舞踏の今 その1 山海塾「海の賑わい 陸(オカ)の静寂—めぐり」	演出・振付・デザイン 音楽 加古 隆／YAS-KAZ／吉川洋一郎 天児牛大 出演 山海塾	2017. 11/25
	高谷史郎(ダムタイプ)「ST/LL」	総合ディレクション 音楽 坂本龍一／原 摩利彦／南 琢也 高谷史郎 出演 鶴田真由／薮内美佐子／平井優子／オリヴィエ・バルザリーニ	2018. 2/24
	舞踏の今 その1 大駱駝艦・天賦典式「罪と罰」	振替・演出・美術 磨 赤兒 鑄態(出演) 磨 赤兒ほか	2018. 3/17
	森山開次「サーカス」	演出・振付・アートディレクション 音楽 川瀬浩介 森山開次 出演 森山開次 ほか	2018. 5/19
2018/ 2019	JAPON dance project 2018×新国立劇場バレエ団 「Summer / Night / Dream」	遠藤康行／小池ミモザ／柳本雅寛	2018. 8/25
	ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2018		
	「砂漠のミイラ」 「獄舎の演芸」 「八月の庭」	庄司 裕 音楽構成 山本 直 藤井 公 音楽 クルト・ヴァイル ほか 若松美黄 音楽 安良岡章夫	2018.11/24
	新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2019	アドヴァイザー 中村恩恵 出演 新国立劇場バレエ団	
	NBJ Choreographic Group 作品 生演奏による Improvisation 即興	貝川鐵夫／福田圭吾／高橋一輝／福田紘也 演奏 スガダイロー(pf.)室屋光一郎(vl.)伊藤ハルトシ(vc./gt.) (29日) 音楽監督・演奏 阿部篤志(pf.)笠松泰洋(ob.)室屋光一郎(vl.) (30日 13:00) 笠松泰洋 阿部篤志(pf.)笠松泰洋(ob.)太田恵資(vl.) (30日 18:00) 林 正樹(pf.)佐藤芳明(acc.)岩川 光(ケーナ) (31日)	2019. 3/29
森山開次「NINJA」	演出・振付・アートディレクション 音楽 川瀬浩介 森山開次 出演 森山開次 ほか	2019. 5/31	

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2019/ 2020	中村恩恵×新国立劇場バレエ団 「ベートーヴェン・ソナタ」	中村恩恵 音楽 L.v.ベートーヴェン 出演 首藤康之／新国立劇場バレエ団	2019. 11/30
	新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2020 (公演中止)*	アドヴァイザー 遠藤康行 出演 新国立劇場バレエ団	
	NBJ Choreographic Group 作品 コンポジション・プロジェクトによる作品	渡邊峻郁／貝川鐵夫／福田圭吾／木下嘉人／高橋一輝／福田紘也 アドヴァイザー 遠藤康行 音楽 平本正宏	
	小野寺修二 カンパニーデラシネラ 「ふしぎの国のアリス」(公演中止)	構成・振付 小野寺修二 出演 カンパニーデラシネラ	
2020/ 2021	中村恩恵×首藤康之×新国立劇場バレエ団 「Shakespeare THE SONNETS」	中村恩恵／首藤康之 音楽 D.P.ハウブリッヒ 出演 小野絢子&渡邊峻郁／ 米沢唯&首藤康之	2020. 11/28
	ダンス・コンサート 舞姫と牧神たちの午後 2021		
	かそけし 極地の空 Let's Do It! 「A Picture of You Falling」より Danae Butterfly	演出・振付 島地保武 出演 酒井はな&森山未来 音楽・演奏 藤元高輝 振付・出演 加賀谷 香&吉崎裕哉 音楽・演奏 坂出雅海 振付・出演 山田うん&川合ロン 振付 クリスタル・バイト 出演 湯浅永麻&小尻健太 振付 貝川鐵夫 出演 木村優里&渡邊峻郁 振付 平山素子&中川 賢 出演 池田理沙子&奥村康祐／ 五月女遥&渡邊拓朗	2021. 3/26
	Co.山田うん『オバケッタ』	山田うん 音楽 ヲノサトル	2021. 7/02
2021/ 2022	新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future: 2021 Selection	アドヴァイザー 遠藤康行 出演 新国立劇場バレエ団	
	NBJ Choreographic Group 作品 ナット・キング・コール組曲	木村優里／木下嘉人／高橋一輝／ 柴山紗帆・益田裕子・赤井綾乃・横山柊子／貝川鐵夫 上島雪夫	2021. 11/27
	小野寺修二 カンパニーデラシネラ 「ふしぎの国のアリス」	構成・振付 小野寺修二 出演 カンパニーデラシネラ	2022. 3/18
	森山開次「新版・NINJA」	演出・振付・アートディレクション 森山開次 音楽 川瀬浩介	2022. 6/25

* 第3部<コンポジション・プロジェクトによる作品>を無観客でライブ配信